



Express Recorder

# IR-7523 Transfer Software

---

取扱説明書

Ver. 5.30

アストロデザイン株式会社

## ご使用前に

### はじめに

この取扱説明書(以下、本書)では、Express Recorder IR-7523 転送ソフトウェアの使用方法、及び使用上の注意事項について説明しています。本ソフトを正しくお使いいただくため、ご使用前に本書を必ずお読みください。

**特にp28「2.4.2」【Restore 機能 → CLIP の転送方法】の4項の【重要】については、必ずお読みください。**

また、本書は大切に保存してください。

### 用語について

本書では、記載を簡略化するため、一部の用語を次のように表記しています。

項目	本書での表記
IR-7523 転送ソフトウェア	本ソフト、本製品
Express Recorder IR-7523	IR 本体
CFexpress Type B カード	CFe

### 操作画面について

本ソフトは Windows に対応しています。

### 商標及び登録商標について

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標又は商標です。

#### ! 重要

- 本ソフトの使用により発生したいかなる結果についても補償はいたしかねます。ご了承ください。

# もくじ

ご使用の前に.....	2
はじめに.....	2
用語について.....	2
操作画面について.....	2
商標及び登録商標について.....	2
もくじ.....	3
<b>第1章 本ソフトについて.....</b>	<b>4</b>
1.1 本装置の特長.....	4
1.2 制限事項.....	4
1.3 動作環境.....	4
1.4 ソフトウェアインストール/アンインストール.....	5
1.4.1 インストール.....	5
1.4.2 アンインストール.....	7
1.5 ファイル形式.....	7
1.6 ライセンス.....	8
1.6.1 ライセンス発行手順.....	8
<b>第2章 使用方法.....</b>	<b>9</b>
2.1 操作画面仕様.....	9
2.1.1 起動時の動作.....	9
2.1.2 CFe カードの認識.....	11
2.2 画面各部詳細.....	12
2.2.1 Backup 機能画面.....	12
2.2.2 Restore 機能画面.....	14
2.2.3 Decode 機能画面.....	16
2.3 Backup 機能.....	18
2.3.1 フォルダ構成.....	18
2.3.2 CLIP の転送方法.....	20
2.4 Restore 機能.....	24
2.4.1 フォルダ構成.....	24
2.4.2 CLIP の転送方法.....	27
2.5 Decode 機能.....	31
2.5.1 フォルダ構成.....	31
2.5.2 CLIP の変換方法.....	33
2.6 不完全 CLIP の復旧.....	37
<b>第3章 メッセージ一覧.....</b>	<b>40</b>
<b>第4章 変更履歴.....</b>	<b>42</b>

# 第1章 本ソフトについて

本章では、本製品の概要、及び仕様について説明します。

## 1.1 本装置の特長

本ソフトは、IR-7523 専用の転送ソフトウェアになります。IR-7523 で使用される CFe カードからファイルの転送を行います。

本ソフトの主な機能は以下の通りになります。

- CFe カードから CLIP データを PC へ転送(Backup)する。
- PC 上の CLIP データを CFe カードへ転送(Restore)する。
- PC 上の CLIP データ(RAW データ)を TIFF、DPX に変換(Decode)する。

## 1.2 制限事項

- FLC6 コーデックで収録されたクリップを PC へ転送する(Backup)際には、RAW データのまま転送するか、DPX もしくは TIFF データに変換して PC へ転送するかを選択できます。
- FLC6 コーデックで収録されたクリップについては、CFe カードへの転送(Restore)は RAW データで行う場合と、画像データ(DPX、TIFF)と音声データ(WAV)の組み合わせで行う場合の二種類の方法があります。
- ProRes コーデックで収録されたクリップは、本体が ProRes オプションを搭載している場合にのみ使用可能です。

## 1.3 動作環境

名称	説明
OS	Microsoft Windows 10(x64)
メモリ	8GB 以上推奨
HDD	1GB 以上の余裕があること
ディスプレイ解像度	1280 x 768 以上推奨
ソフトウェア	Microsoft Visual Studio C++ 2019 Redistributable Windows

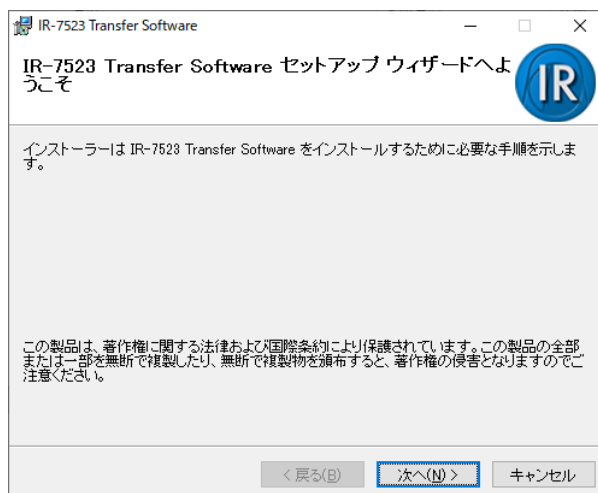
### MEMO

- ・ Microsoft Visual Studio C++ Redistributable がインストールされていない、又は破損している場合、本ソフト起動時に「コンピューターに MSVCP xxx .dll がないためプログラムを開始できません」などと表示されます。この場合は対象となるバージョンの Microsoft Visual StudioC++Redistributable パッケージをインストール又は修復してください。インストーラーは付属 CD の Windows フォルダからコピーしてご使用いただくか、Microsoft のダウンロードサイトから最新版を入手してください。(無料)

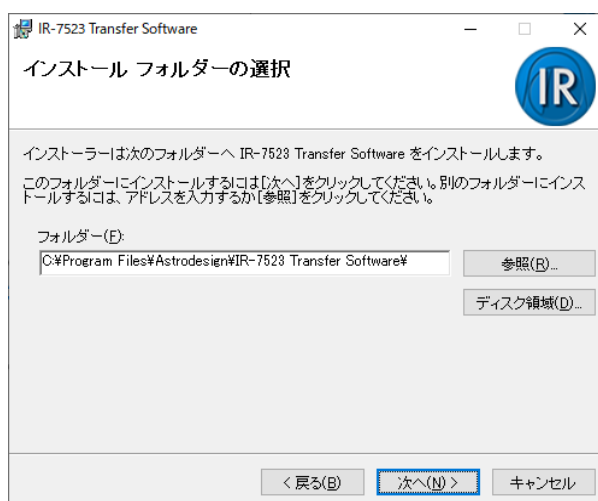
## 1.4 ソフトウェアインストール/アンインストール

### 1.4.1 インストール

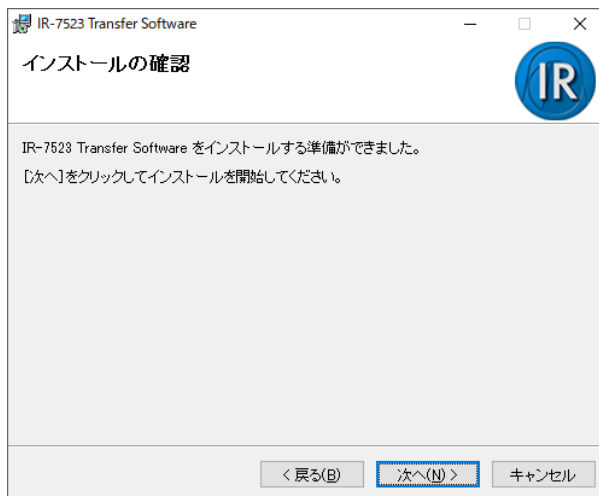
- 1 IR-7523 Transfer Software インストールディスク CD を CD ドライブにセットして、CD 内にある Setup.exe を起動してください。インストーラーが作動しセットアップを開始します。
- 2 まず、『ようこそ』ダイアログが表示されます。[次へ]ボタンをクリックするとセットアップは次の手順へ進み、[戻る]ボタンでは前の手順へ戻ります。[キャンセル] ボタンではセットアップを中止します。[次へ]ボタンをクリックしてください。



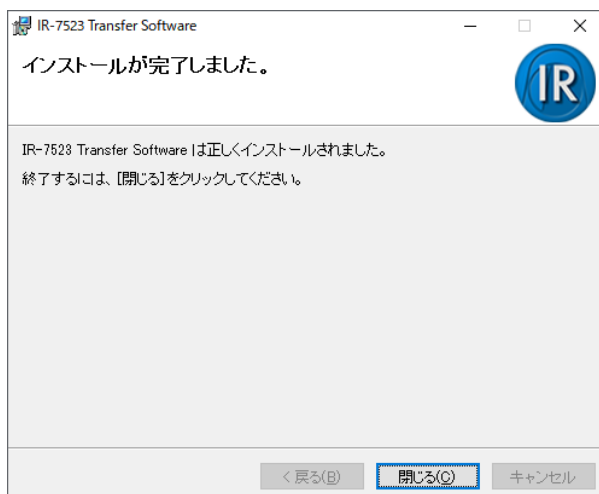
- 3 『インストール先の選択』ダイアログではコピー先ディレクトリを選択します。デフォルトは“ C:\Program Files\Astrodesign\IR-7523 Transfer Software”ディレクトリを作成し、ファイルをコピーします。このとき、コピー先のディレクトリをユーザー指定のディレクトリに変更できます。[参照]ボタンをクリックしディレクトリを設定してください。[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 4 [インストールの確認]画面にてインストールを行うかの最終確認をします。[次へ]ボタンをクリックするとファイルのインストールダイアログが表示され、インストールが開始されます。



- 5 [インストールの完了]画面が表示されたらインストールの完了です。「閉じる」ボタンを押してください。



- 6 Windows の[スタート] - [Astrodesign] - [IR-7523 Transfer Software]を起動してしてください。デスクトップ上にも「IR-7523 Transfer Software」のショートカットアイコンが作成されます。ショートカットアイコンをダブルクリックすることでも起動します。

## 1.4.2 アンインストール

- 1 Windows の[スタート]-[設定]-[アプリ]を選択し、「アプリと機能」画面を起動してください。
- 2 一覧から「IR-7523 Transfer Software」を選択して、アンインストールボタンを押下するとアンインストールの確認画面が表示されます。
- 3 [アンインストール]ボタンを押下して、画面の指示に従って削除してください。



### MEMO

- ・ ユーザーのホームディレクトリにある次のフォルダに、設定ファイルやログファイルが保存されています。  
「C:\Users\ユーザー\AppData\Roaming\ASTRODESIGN\IR-7523\_TransferSoftware」  
本ソフトを完全にアンインストールしたい場合は、このフォルダを削除してください。

## 1.5 ファイル形式

本ソフトにて書き込みや読み込みを行うことが出来るファイルの種類や形式は下記のとおりになります。

- RAW ファイル
  - ・アストロ独自形式ファイル。
- DPX ファイル
  - ・YCbCr422 10bit
  - ・RGB444 10、12、16bit
- TIFF ファイル
  - ・非圧縮 RGB 8、16bit
- WAV ファイル
  - ・リニア PCM 24bit
  - ・サンプリング周波数 48kHz
  - ・1 ファイル 2ch(チャンネル数:ステレオ)で最大 16 ファイル(32ch)

※いずれのファイルも連番ファイルとなります。

## 1.6 ライセンス

本ソフトはライセンス式になっており、有効なライセンスが存在しない場合、一部の機能が制限されます。

ライセンスは期間限定のトライアルライセンスと無期限ライセンス(Perpetualライセンス)があります。

トライアルライセンスは本ソフトのインストール時に自動で付加されます。

トライアルライセンスの有効期間は本ソフトの初回起動時から 14 日間です。

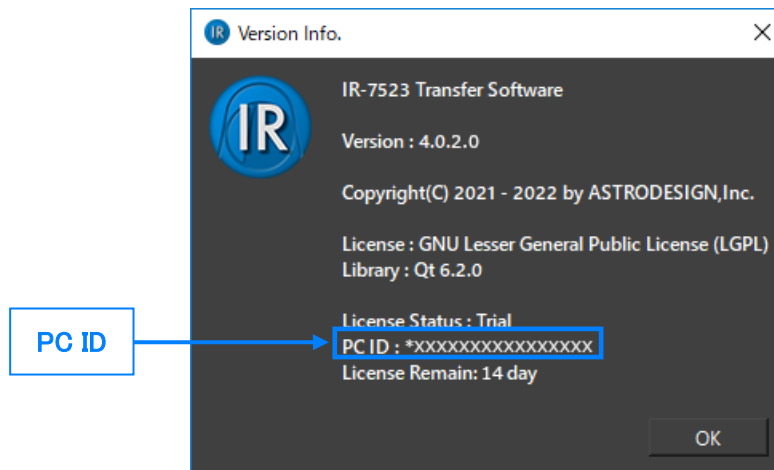
### ! 重要

有効なライセンスが存在しない場合は、TIFF の連番ファイル、または DPX の連番ファイルを CFexpress カードに Restore する機能が制限されます。

### 1.6.1 ライセンス発行手順

無期限のライセンス発行手順について記述します。

- 1 ソフトをインストールした PC 上で本ソフトを実行します。
- 2 画面上部のツールバーから Help→About と選択することで本ソフトの情報画面を表示します。



- 3 表示された画面に書かれた[PC ID]を、弊社営業担当に送付します。
- 4 この[PC ID]を元に作成したライセンスファイルが弊社営業担当から返送されます。
- 5 返送されたライセンスファイルを、本ソフトのインストールディレクトリに配置します。
  - ◇ ソフトのインストールディレクトリはエクスプローラーから以下のパスにアクセスしてください。  
C:¥Program Files¥Astrodesign¥IR-7523 Transfer Software
  - ◇ ライセンスファイルを配置するには管理者権限が必要になる場合があります。



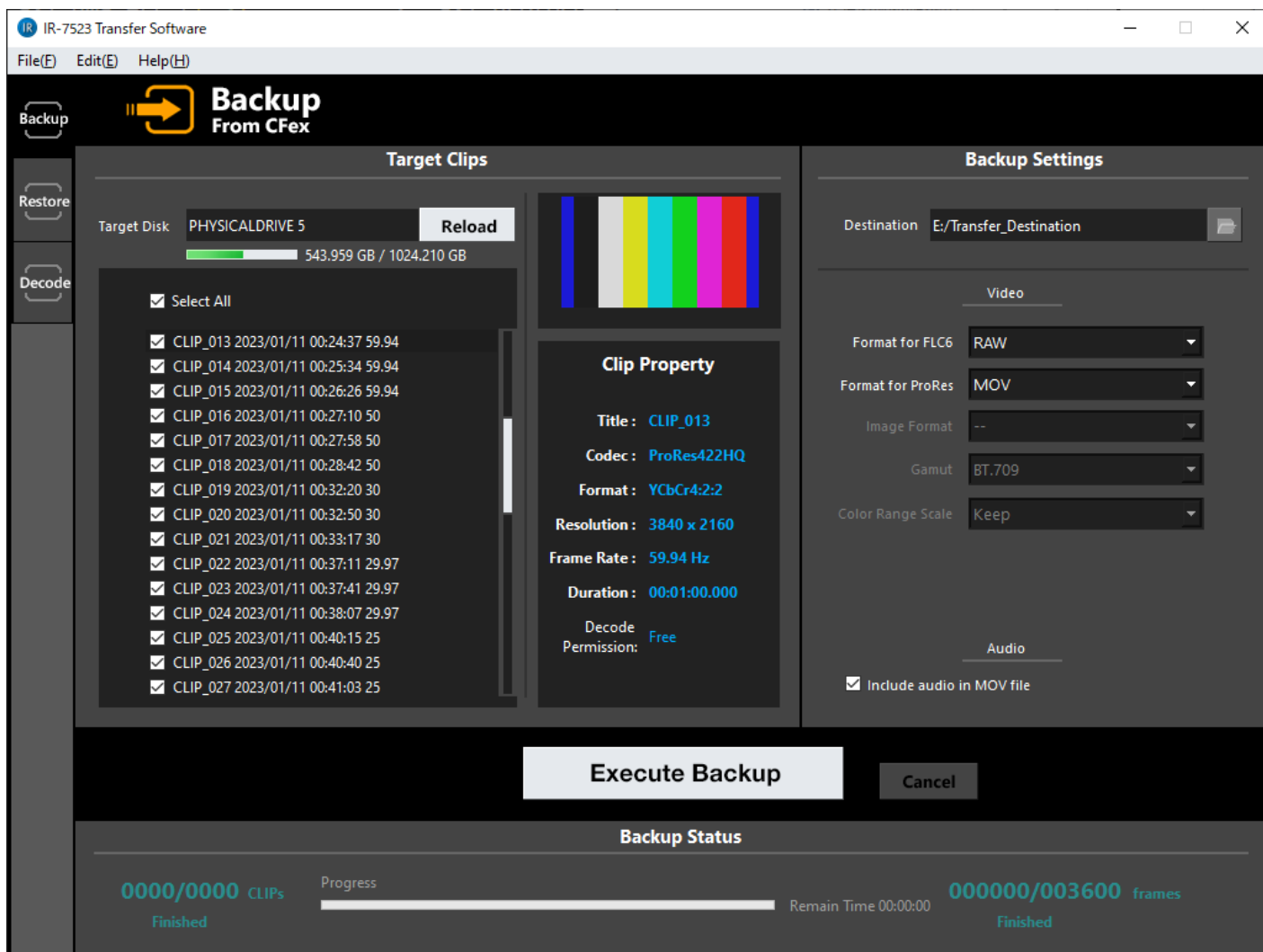
## 第2章 使用方法

### 2.1 操作画面仕様

#### 2.1.1 起動時の動作

本ソフトは起動時に PC に IR-7523 本体で使用される CFe カードが接続されているかを確認します。

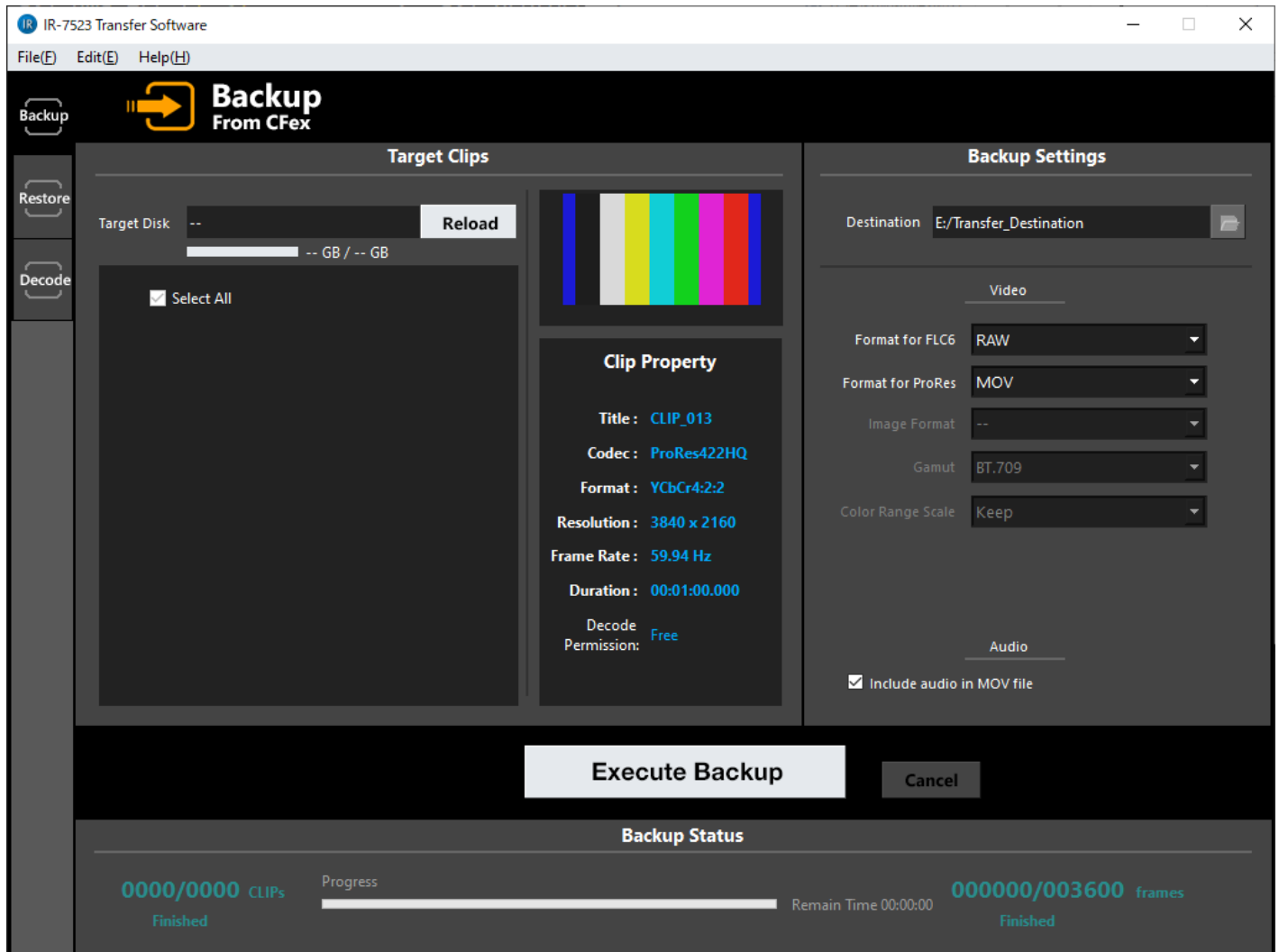
CLIP データが収録されている CFe カードが接続されている場合には下図のような画面表示になります。



#### MEMO

- ・ 本ソフトの多重起動は行えません。

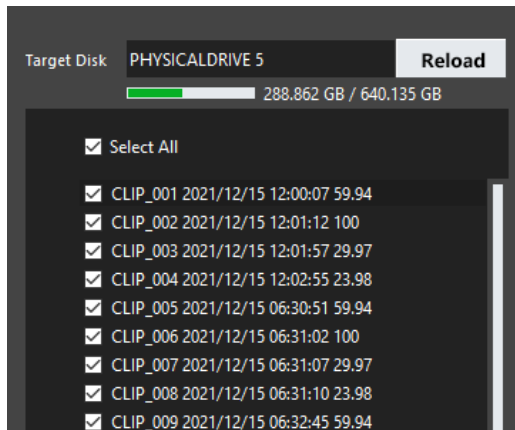
CFE カードが接続されていない場合などは下図のような表示になります。



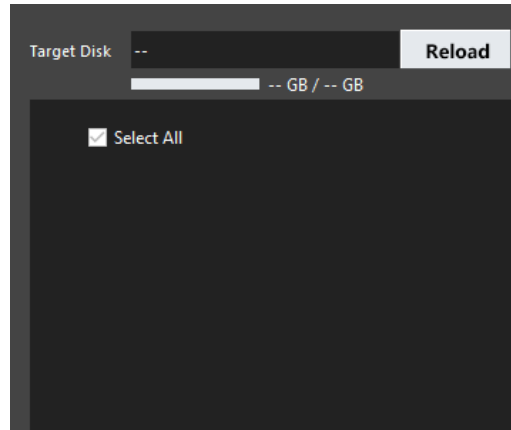
## 2.1.2 CFe カードの認識

CFe カードを PC に接続した状態で本ソフトを起動させ、正常に認識がされると CFe カード内の CLIP データをリスト表示します。CFe カードのドライブも画面上に表示します。

CFe カードが正常に認識されなかった場合にはドライブ表示も CLIP のリスト表示もされません。



CFe カードが認識された状態



CFe カードが認識されなかった状態

本ソフトを起動後に CFe カードを PC に接続した場合などは Reload ボタンを押下することで CFe カードの認識処理を行います。

それでも CFe カードの認識がされなかった場合には、

- ・IR-7523 本体で CLIP データが読み込めるか。
- ・PC の「ディスクの管理」にて CFe カードがドライブ認識がされているか。

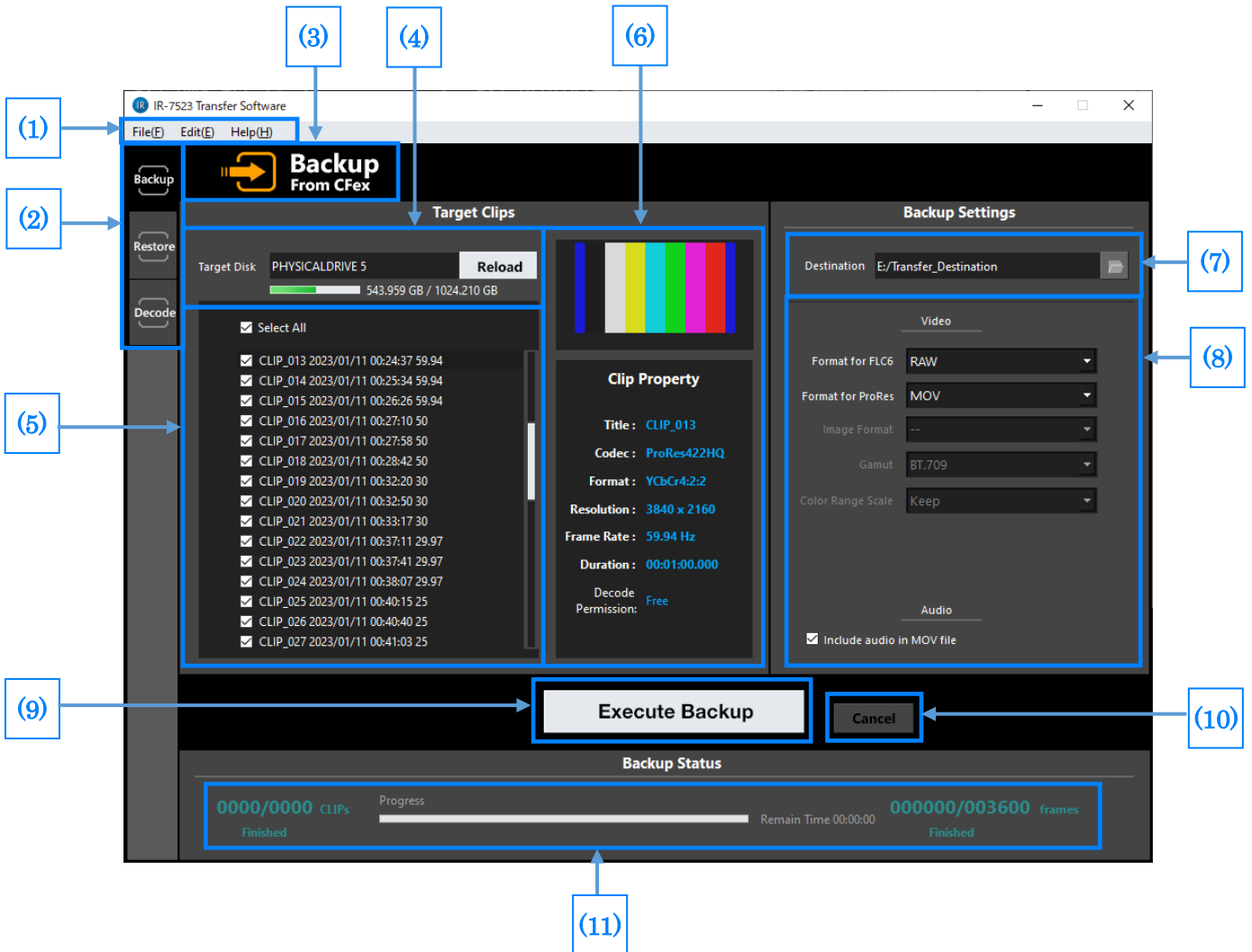
を確認してください。

### MEMO

- ・ PC に複数の CFe カードが接続されている場合には、一番若いドライブ番号に設定されている CFe カードが認識処理をされます。

## 2.2 画面各部詳細

### 2.2.1 Backup 機能画面



#### 共通項目

No.	項目	説明		
(1)	メニューバー	File	Exit	本ソフトを終了します。
		Edit	Rescue	不具合のある CLIP データを復旧します。 ※通常は選択できません。
		Help	About	本ソフトのバージョン情報画面、およびライセンス情報を表示します。
(2)	画面切り替えボタン	Backup ボタン	Backup 画面に切り替えます。	
		Restore ボタン	Restore 画面に切り替えます。	
		Decode ボタン	Decode 画面に切り替えます。	
(3)	表示画面アイコン	現在のモードを示すアイコンを表示します。		

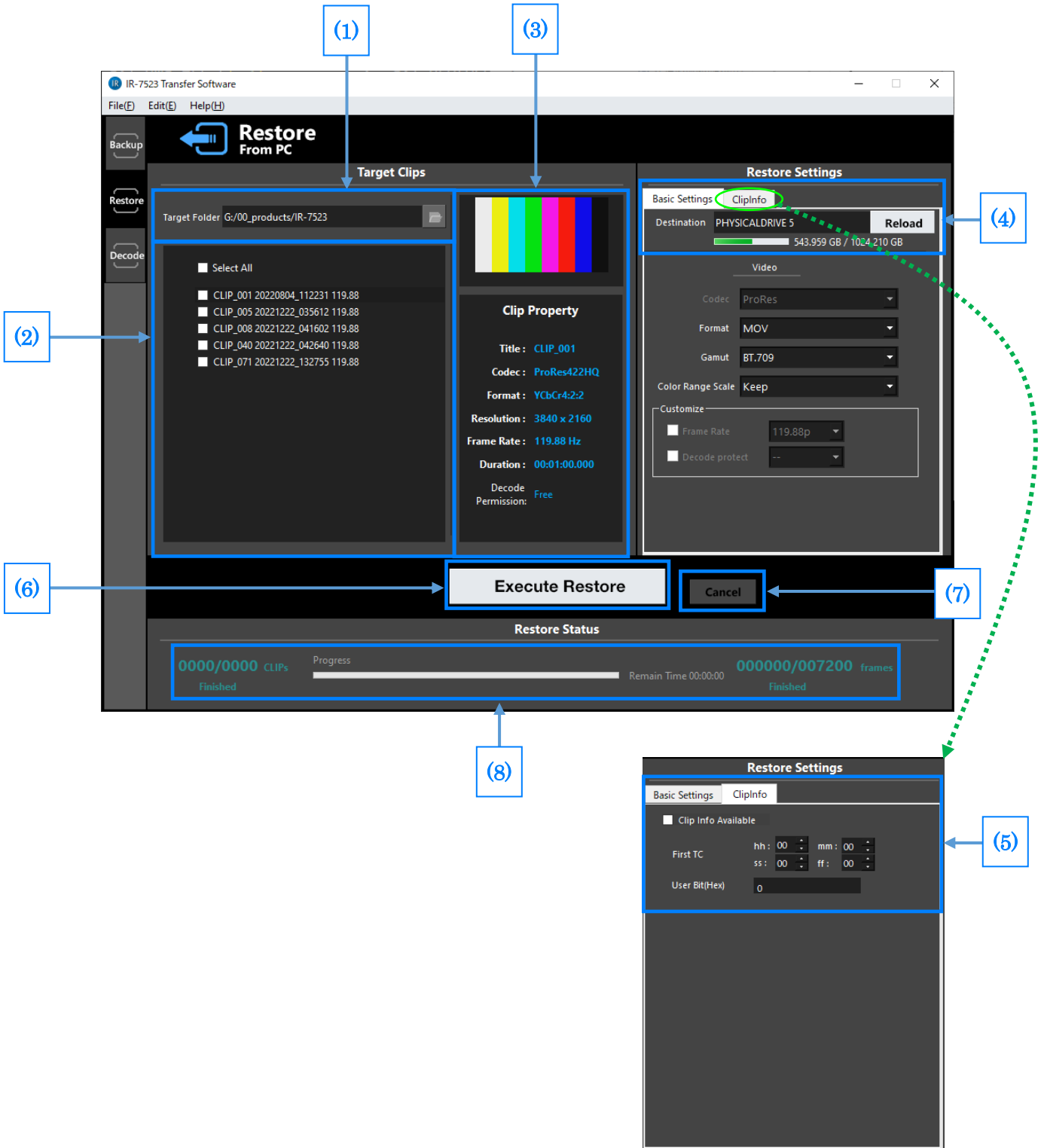
## Backup 画面項目

No.	項目	説明	
(4)	Target Disk	接続された CFe カードのドライブを表示します。編集できません。 ドライブの認識は本ソフトの起動時か、Reload ボタンを押下してください。 ドライブが認識された場合には CFe カードの容量と使用領域の表示を行います。	
(5)	CLIP List	接続された CFe カード内の CLIP データをリスト表示します。 各 CLIP のチェックボックスの ON/OFF によって PC への Backup を行うかを選択します。	
(6)	CLIP 情報	(5)の CLIP List をマウスでクリックされた CLIP の情報とサムネイル画像を表示します。 Decode Permission が Restricted のクリップを選択すると、サムネイル画像は以下の表示になります。 	
(7)	Destination	Backup 時の保存先のフォルダを選択します。 選択・設定されたフォルダの下に Backup を行った CLIP フォルダを生成します。	
(8)	Backup 設定項目	Backup 時の PC へ保存されるファイル形式や設定を選択します。	
		Format for FLC6 FLC6 コーデックで収録されたクリップについて、 PC に保存するファイル形式を選択します。 設定値: RAW, DPX, RAW + DPX, TIFF, RAW + TIFF	
		Format for ProRes ProRes コーデックで収録されたクリップについて、 PC に保存するファイル形式を選択します。 設定値: MOV, MXF(将来対応)	
		Image Format [Format for FLC6]で選択された画像の形式やビット数を選択します。	RAW ※選択不可
			DPX 設定値: YCbCr422 DPX 10bit, RGB DPX 10bit, RGB DPX 12bit, RGB DPX 16bit
			TIFF 設定値: TIFF 8bit, TIFF 16bit
		Gamut FLC6 コーデックで収録されたクリップについて、 PC へ DPX や TIFF で保存される際に使用する色域の設定を選択します。 設定値: BT.709, BT.2020	
		Color Range Scale FLC6 コーデックで収録されたクリップについて、 PC へ DPX や TIFF で保存される際に使用するカラーレンジスケールを設定を選択します。 設定値: Keep, Limited->Full, Full->Limited	
Include audio in MOV file チェックを入れると、Backup 転送を実行する際、WAV の音声ファイル、および MOV の音声トラックに音声を転送します。 チェックを外すと、音声データを一切バックアップしません。 これにより、転送速度が向上する場合があります。			
(9)	Backup 実行ボタン	ボタンを押下すると CLIP List で選択された CLIP を PC へ転送した場合に消費される容量をメッセージダイアログで表示します。ここで YES を押下すると Backup を開始します。	
(10)	Cancel ボタン	Backup 実行が開始されると有効になります。ボタンを押下すると実行を中止するかのメッセージダイアログが表示されます。YES を押下すると Backup 実行を中止します。	
(11)	進捗状況	Backup 実行時の進捗状況を表示します。	
		CLIP カウンター 転送された CLIP のカウント表示を行います。	
		Frame カウンター 転送された Frame のカウント表示を行います。	
		Progress バー Frame データの転送進捗を表示します。	
		Remain Time Frame データの転送にかかるおおよその残り時間を表示します。	

## MEMO

- Backup 設定項目の Format 設定にて「RAW + DPX」(若しくは「RAW + TIFF」)を選択して Backup 転送を行った場合には「RAW」と「DPX」(若しくは「TIFF」)の2種類のファイルが生成されます。

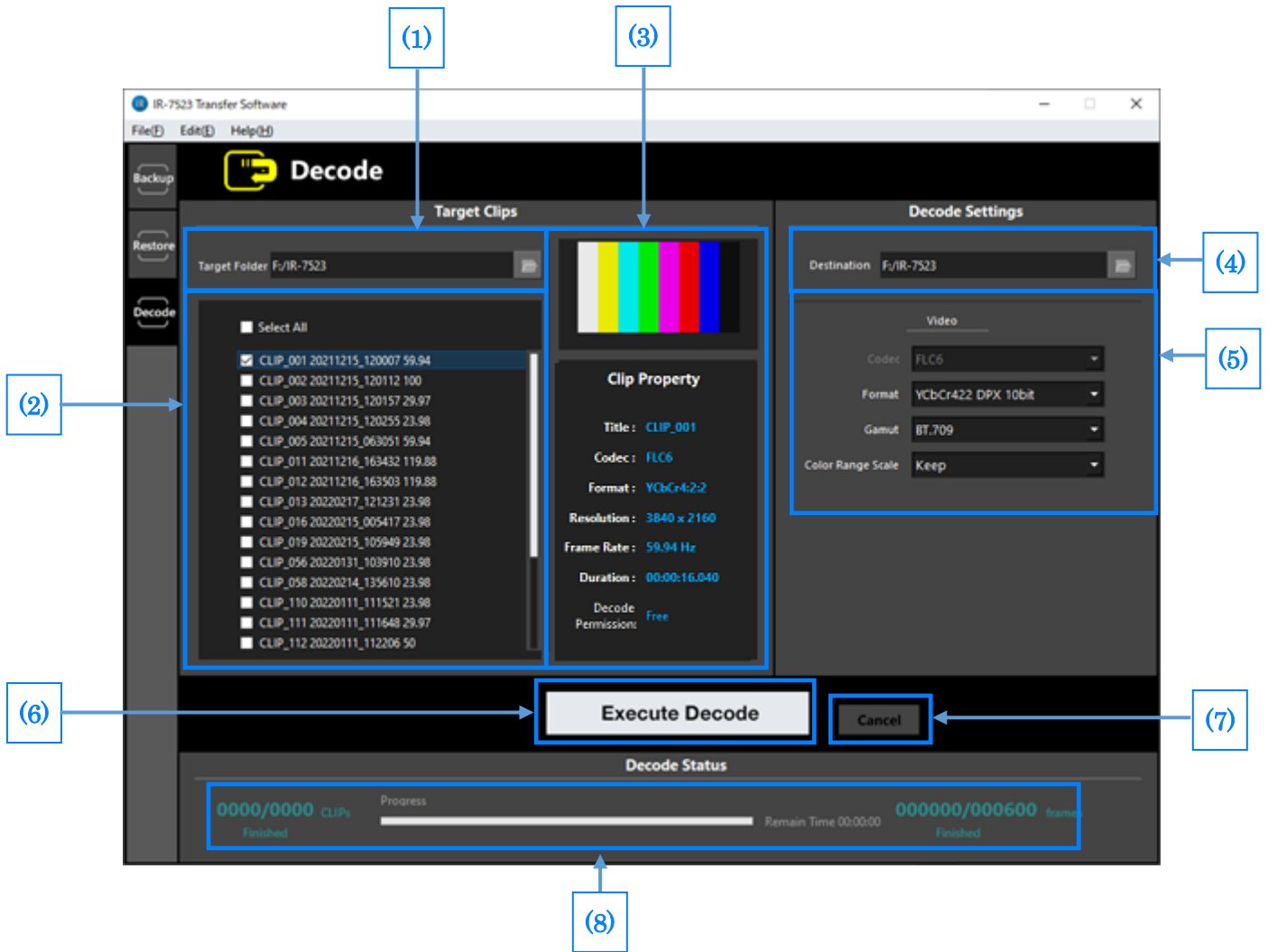
## 2.2.2 Restore 機能画面



## Restore 画面項目

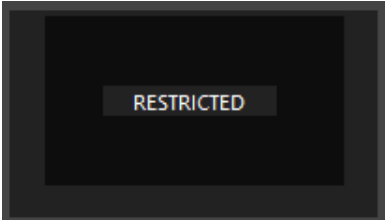
No.	項目	説明	
(1)	Target Folder	PCに保存されている CLIP データのフォルダを選択します。 選択・設定されたフォルダの下に保存されている CLIP フォルダ名を(2)でリスト表示します。	
(2)	CLIP List	(1)で選択されたフォルダ内に保存されている CLIP フォルダの内、 <b>(4)[Format]に設定された拡張子のクリップファイルを含有する CLIP フォルダ</b> をリスト表示します。 各 CLIP のチェックボックスの ON/OFF によって CFe カードへの Restore を行うかを選択します。	
(3)	CLIP 情報	(2)の CLIP List をマウスでクリックされた CLIP の情報とサムネイル画像を表示します。	
(4)	Restore 設定項目 [Basic Settings]	接続された CFe カードのドライブを表示します。編集できません。 ドライブの認識は本ソフトの起動時か、Reload ボタンを押下してください。 ドライブが認識された場合には CFe カードの容量と使用領域の表示を行います。	
		Restore 処理を行うファイル形式や設定を選択します。	
		Codec	クリップのコーデックを表示します。 下記[Format]の項目で設定された拡張子に応じて自動で切り替わります。 <b>設定値:FLC6/MOV</b>
		Format	CFe カードへ転送するデータのファイル形式を選択します。 設定されたファイル形式を含んでいる CLIP データのフォルダが(2)の CLIP List に表示されます <b>設定値:RAW, DPX, TIFF, MOV, MXF(将来対応)</b>
		Gamut	RAW データに変換する際に使用する色域の設定を選択します。 <b>設定値:BT.709, BT.2020</b>
		Color Range Scale	RAW データに変換する際に使用するカラーレンジスケールを設定を選択します。 <b>設定値:Keep, Limited→Full, Full→Limited</b>
		Frame Rate	チェックを ON にすることで有効になり、フレームレートを変更できます。 RAW データに変換する際に使用するフレームレートを任意に選択します。 <b>設定値:23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48, 50, 59.94, 60, 100, 119.88, 120</b>
Decode Protect	チェックを ON にすることで有効になり、Decode の時のデータ保護を行う事ができます。 <b>設定値:Free(保護無し):Restricted(保護あり)</b>		
(5)	Restore 設定項目 [ClipInfo]	Clip Info Available	チェックを入れると、Restore 転送時に開始 TC とユーザービットを任意に指定できます。 チェックを外すと、Restore 転送で使用する開始 TC とユーザービットについて、オリジナルのクリップ情報を参照します。
		First TC	[Clip Info Available]がチェックされている場合、 任意の開始 TC を付与して Restore 転送します。
		User Bit(Hex)	[Clip Info Available]がチェックされている場合、 任意のユーザービットを付与して Restore 転送します。
(6)	Restore 実行ボタン	ボタンを押下すると CLIP List で選択された CLIP を CFe カードへ転送した場合に消費される容量をメッセージダイアログで表示します。ここで YES を押下すると Restore を開始します。	
(7)	Cancel ボタン	Restore 実行が開始されると有効になります。ボタンを押下すると実行を中止するかのメッセージダイアログが表示されます。YES を押下すると Restore 実行を中止します。	
(8)	進捗状況	Restore 実行時の進捗状況を表示します。	
		CLIP カウンター	転送された CLIP のカウント表示を行います。
		Frame カウンター	転送された Frame のカウント表示を行います。
		Progress バー	Frame データの転送進捗を表示します。
		Remain Time	Frame データの転送にかかるおおよその残り時間を表示します。

### 2.2.3 Decode 機能画面





## Decode 画面項目

No.	項目	説明
(1)	Target Folder	PCに保存されているRAWデータファイルを含んでいるCLIPデータのフォルダを選択します。 選択・設定されたフォルダの下に保存されているCLIPフォルダ名を(2)でリスト表示します。
(2)	CLIP List	(1)で選択されたフォルダ内に保存されているRAWデータファイルを含んでいるCLIPフォルダをリスト表示します。 各CLIPのチェックボックスのON/OFFによってDecodeを行うかを選択します。
(3)	CLIP 情報	(2)のCLIP ListをマウスでクリックされたCLIPの情報とサムネイル画像を表示します。 Decode Permission が Restricted のクリップを選択すると、サムネイル画像は以下の表示になります。 
(4)	Destination	Decode時の保存先のフォルダを選択します。 選択・設定されたフォルダの下にDecodeを行ったCLIPフォルダを生成します。
(5)	Decode 設定項目	Decode処理を行うファイル形式や設定を選択します。
		Codec ※設定できません。 設定値:FLC6
		Format Decodeを行うファイル形式を選択します。 設定値:YCbCr422 DPX 10bit, RGB DPX 10bit, RGB DPX 12bit, RGB DPX 16bit, TIFF 8bit, TIFF 16bit
		Gamut 変換する際に使用する色域の設定を選択します。 設定値:BT.709, BT.2020
Color Range Scale 変換する際に使用するカラーレンジスケールの設定を選択します。 設定値:Keep, Limited->Full, Full->Limited		
(6)	Decode 実行ボタン	ボタンを押下するとCLIP Listで選択されたCLIPを変換する場合に消費されるデータ容量をメッセージダイアログで表示します。ここでYESを押下するとDecodeを開始します。
(7)	Cancel ボタン	Decode実行が開始されると有効になります。ボタンを押下すると実行を中止するかのメッセージダイアログが表示されます。YESを押下するとDecode実行を中止します。
(8)	進捗状況	Decode実行時の進捗状況を表示します。
		CLIP カウンター 転送されたCLIPのカウント表示を行います。
		Frame カウンター 転送されたFrameのカウント表示を行います。
		Progress バー Frameデータの変換進捗を表示します。
Remain Time Frameデータの変換にかかるおおよその残り時間を表示します。		

## 2.3 Backup 機能

PC に接続された CFe カードから CLIP データを PC 上に保存する機能になります。

PC への保存は MOV、RAW、DPX、TIFF ファイルのどれかか、「RAW と DPX」または「RAW と TIFF」のいずれかになります。

### 2.3.1 フォルダ構成

転送される CLIP データは下記のようなフォルダ構成で保存されます。

- RAW データ、DPX データ、TIFF データ、

指定フォルダ	※1
└CLIP フォルダ 1	※2
├Audio	※3
├┬Audio_01.wav、Audio_02.wav、Audio_03.wav ～～ Audio_16.wav	
├RAW	※4
├┬00000001.raw～連番ファイル	
├Thumbnail	※5
├┬Thumbnail.png	
├VIDEO	※6
├┬DPX 形式 (00000001.dpx～連番ファイル)	
├┬TIFF 形式合 (00000001.tif～連番ファイル)	
├ClipInfo.ini	※7
└CLIP フォルダ 2	※2
├Audio	※3
├RAW	※4
├Thumbnail	※5
├VIDEO	※6
├ClipInfo.ini	※7
└CLIP フォルダ 3	※2
├Audio	※3
├RAW	※4
├Thumbnail	※5
├VIDEO	※6
├ClipInfo.ini	※7
:	
:	
:	

#### MEMO

- ・ ※1 Backup 画面で設定します
  - ・Destination で設定されたフォルダパス。
- ・ ※2 Backup 画面で選択された CLIP データフォルダ
  - ・「/」や「:」はフォルダ名に設定出来ない為、これらが削除されたフォルダ名になります。
- ・ ※3 Audio データフォルダ
- ・ ※4 RAW データフォルダ
  - ・設定によっては生成されません。
- ・ ※5 サムネイル画像フォルダ
  - ・サムネイル画像は先頭フレームから 1%ほど進んだフレームデータのサムネイル画像を 1 枚だけ保存致します。
- ・ ※6 VIDEO データフォルダ
  - ・設定によっては生成されません。
- ・ ※7 CLIP 情報 ini ファイル

## ● MOV データ

指定フォルダ	※1
└CLIP フォルダ 1	※2
├Audio_01.wav、Audio_02.wav、Audio_03.wav ～～ Audio_16.wav	※3
├Clip_【Clip 番号】_【収録日付_収録時刻】.mov	※4
├Thumbnail.png	※5
└ClipInfo.ini	※6
└CLIP フォルダ 2	※2
├Audio.wav	※3
├Clip.mov	※4
├Thumbnail.png	※5
└ClipInfo.ini	※6
└CLIP フォルダ 3	※2
├Audio.wav	※3
├Clip.mov	※4
├Thumbnail.png	※5
└ClipInfo.ini	※6
:	
:	
:	

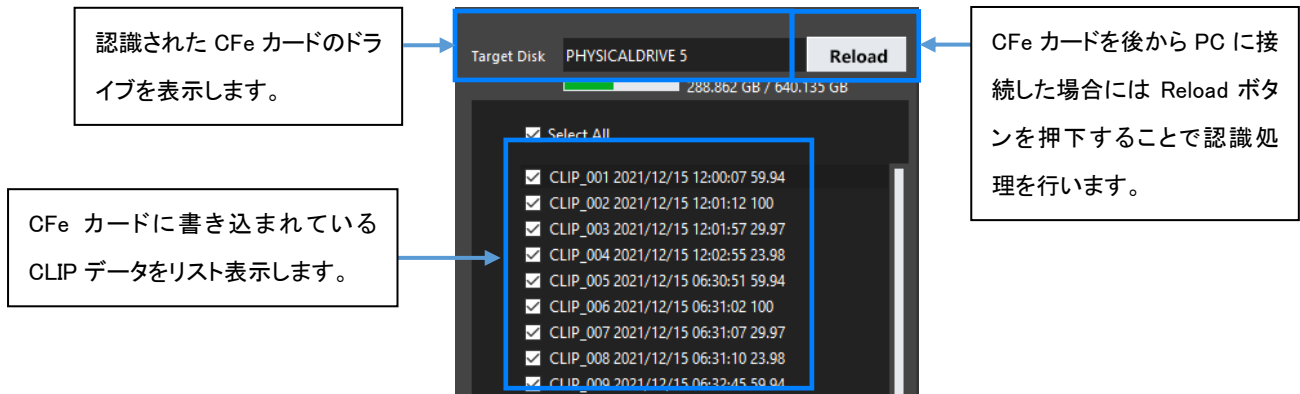


## MEMO

- ・ ※1 Backup 画面で設定します
  - ・Destination で設定されたフォルダパス。
- ・ ※2 Backup 画面で選択された CLIP データフォルダ
  - ・「/」や「:」はフォルダ名に設定出来ない為、これらが削除されたフォルダ名になります。
- ・ ※3 Audio ファイル
  - ・設定によっては生成されません。
- ・ ※4 MOV ファイル
- ・ ※5 サムネイル画像ファイル
  - ・サムネイル画像は先頭フレームから 1%ほど進んだフレームデータのサムネイル画像を 1 枚だけ保存致します。
- ・ ※6 CLIP 情報 ini ファイル

## 2.3.2 CLIP の転送方法

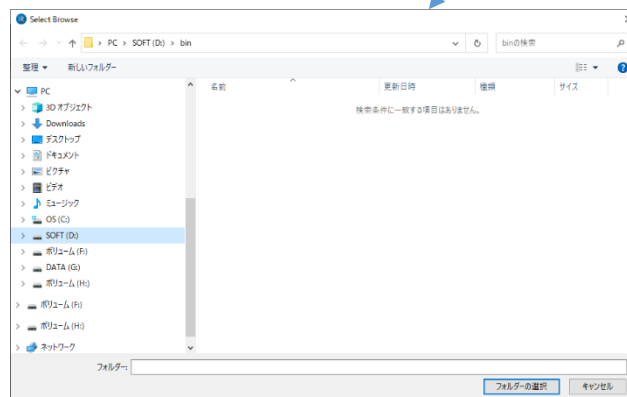
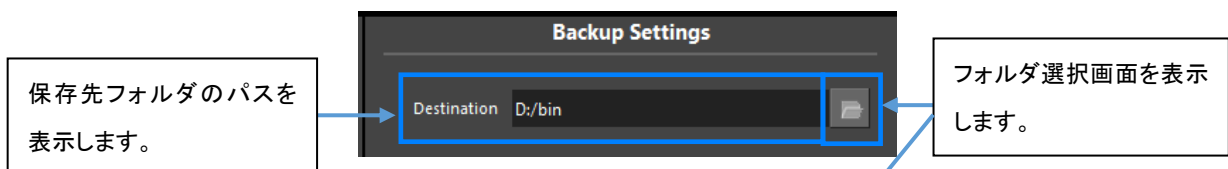
- 1 CFe カードを PC に接続した状態で本ソフトを起動させ、正常に認識がされると CFe カード内の CLIP データをリスト表示します。CFe カードのドライブも画面にも表示します。本ソフト起動後に CFe カードを接続した場合には Reload ボタンを押下してください。



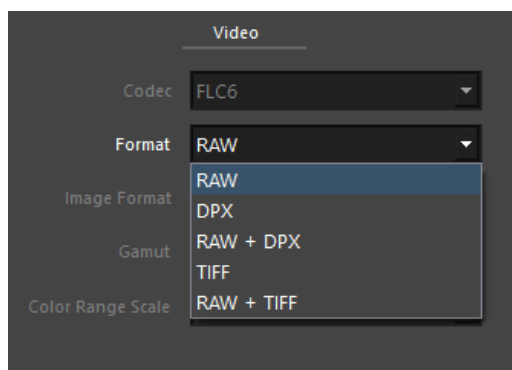
- 2 Backup 転送を行う CLIP を選択してください。



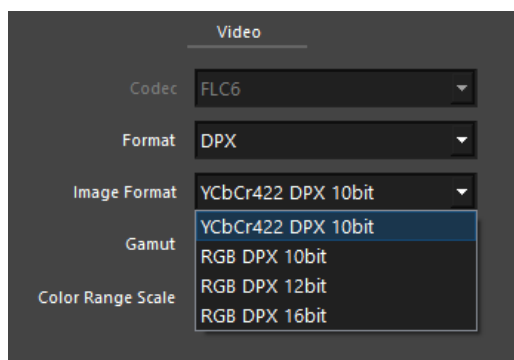
- 3 PC の保存先を設定してください。フォルダアイコンを押下することでフォルダ選択画面を表示します。



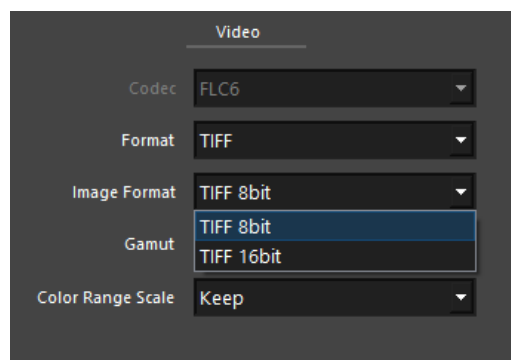
4 Backup 転送で PC に保存するファイル形式を選択します。



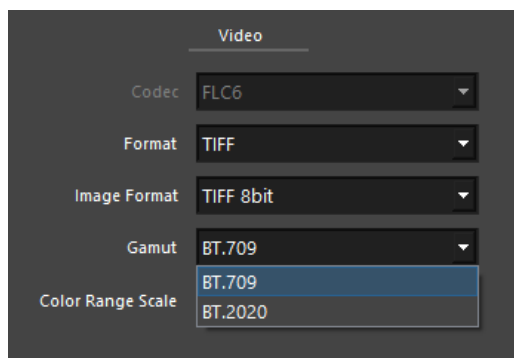
5 DPX や TIFF を選択された場合には RGB/色差の設定、ビット数、色域、カラーレンジスケールの設定も行います。



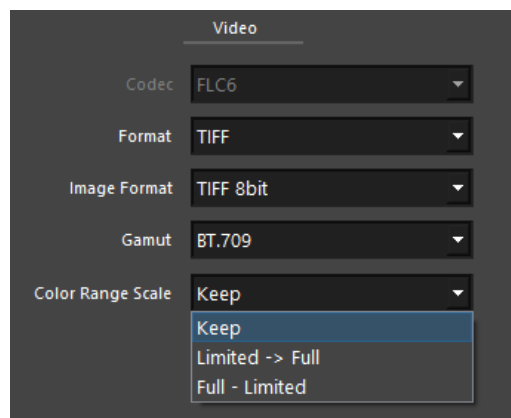
DPX 選択時



TIFF 選択時

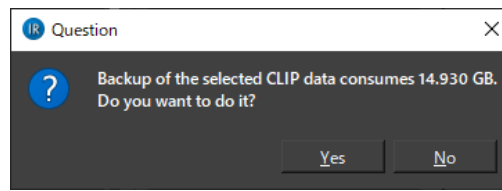


Gamut 設定



Color Range Scale 設定

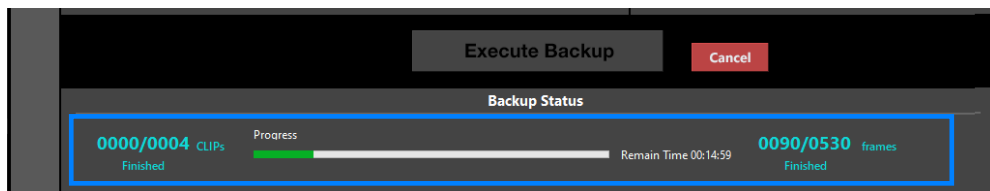
- 6 Execute ボタンを押下すると、選択された CLIP データを PC へ転送した場合に消費されるデータ容量を表示します。



**MEMO**

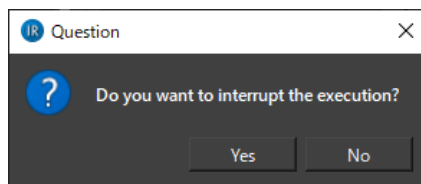
- PC の容量が足りなくなると書き込みエラーになりますので、Backup 転送先ドライブの容量には十分注意してください。
- PC の容量が足りない状態で Backup 転送を行うと PC の空き容量が無くなるまで転送処理は行われます。空き容量が無くなった時点で書き込みエラーとなり処理を中断します。
- 書き込みエラーとなってもそこまで転送されたファイルは PC に保存されます。
- クリップ情報の Decode Permission が[Restricted]のクリップを選んだ状態で、かつ、転送 Format が TIFF または DPX の場合、Execute ボタンは有効になりません。

- 7 YES ボタンを押下すると Backup 転送処理を開始します。画面下部の Backup Status 部分にて進捗状況を表示します。



Backup 転送の進捗状況を表示します。

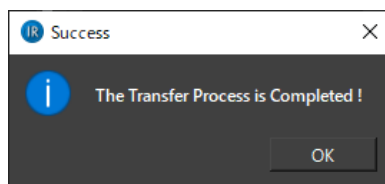
- 8 Backup 転送実行中は Cancel ボタンが有効になります。Cancel ボタンを押下すると転送処理を停止するかを聞いてきます。YES ボタンを押下すると転送処理はそこで中止します。



 MEMO

- このメッセージダイアログを表示しただけでは転送処理は停止しません。メッセージダイアログ表示中も転送処理は続けて行われます。

- 9 CLIP の Backup 転送処理が正常に終了すると下図のメッセージダイアログが表示されます。



- 10 OK ボタンを押下することで Backup 転送処理を終了します。

## 2.4 Restore 機能

PC に保存された CLIP データを CFe カードに戻す機能になります。

CFe カードへは MOV、RAW、DPX、TIFF データを転送することができます。

### 2.4.1 フォルダ構成

Restore 転送を行うファイルによって必要なデータが異なります。

#### ● RAW データ

基本的には Backup 転送処理で生成されたフォルダを使用してください。(『2.3.1 フォルダ構成』)

指定フォルダ	※1
└CLIP フォルダ	※2
└RAW	※3
└└00000001.raw～連番	
└Thumbnail	※4
└└Thumbnail.png	
└ClipInfo.ini	※5



#### MEMO

- ・ ※1 Restore 画面で設定します
  - ・ Target Folder で設定されたフォルダパス。
- ・ ※2 CLIP データフォルダ
  - ・ 任意のフォルダ名に編集可能です。
- ・ ※3 RAW データフォルダ
  - ・ 必須です。
  - ・ フォルダ名は「RAW」固定になります。
- ・ ※4 サムネイル画像フォルダ
  - ・ 無くても Restore 転送には問題ありません。
  - ・ 無い場合には RAW データからサムネイル画像を生成して表示しますが、Thumbnail フォルダ等の生成は行いません。
- ・ ※5 CLIP 情報 ini ファイル
  - ・ 必須です。



## ● DPX、TIFF データ

DPX か TIFF データを Restore するには下記のフォルダ構成にして各データを格納してください。

```

指定フォルダ          ※1
└─CLIP フォルダ      ※2
  └─Audio             ※3
    └─ * .wav (連番ファイル)
  └─Thumbnail        ※4
    └─Thumbnail.png
  └─VIDEO             ※5
    └─DPX 形式 (* .dpx~連番ファイル)
    └─TIFF 形式合 (* .tif~連番ファイル)
  └─ClipInfo.ini     ※6
  
```

### MEMO

- ・ ※1 Restore 画面で設定します
  - ・Target Folder で設定されたフォルダパス。
- ・ ※2 CLIP データフォルダ
  - ・任意のフォルダ名に編集可能です。
- ・ ※3 Audio データフォルダ
  - ・フォルダ名は「Audio」固定になります。
  - ・Audio データが無い場合には無音になります。
  - ・ファイル名は連番になっている必要がありますが、任意の文字列を付けても問題ありません。
  - ・TestWavData\_01.wav、TestWavData\_02.wav 等
- ・ ※4 サムネイル画像フォルダ
  - ・無くても Restore 転送には問題ありません。
  - ・無い場合には画像ファイルをサムネイル画像として表示しますが、Thumbnail フォルダ等の生成は行いません。
- ・ ※5 VIDEO データフォルダ
  - ・必須です。
  - ・フォルダ名は「VIDEO」固定になります。
  - ・ファイル名は連番になっている必要がありますが、任意の文字列をつけても問題ありません。
  - ・DPX 形式: YCDpx\_01.dpx、YCDpx\_02.dpx 等
  - ・TIFF 形式: TestTiff\_01.tif、TestTiff\_02.tif 等
- ・ ※6 CLIP 情報 ini ファイル
  - ・無い場合には VIDEO フォルダに格納されている最初の画像ファイルから情報を取得します。

● MOV データ

DPX か TIFF データを Restore するには下記のフォルダ構成にして各データを格納してください。

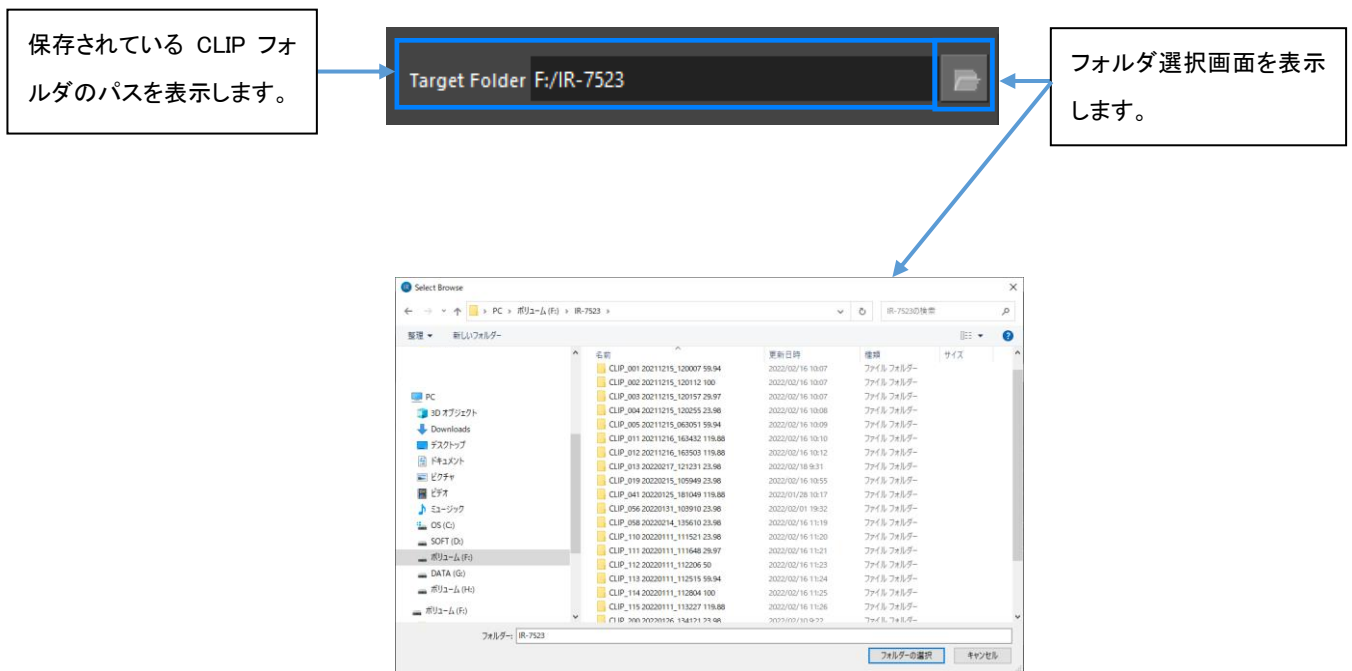
指定フォルダ	※1
└CLIP フォルダ	※2
├ *.wav (連番ファイル)	※3
├Thumbnail.png	※4
├ *.mov	※5
└ClipInfo.ini	※6

 MEMO

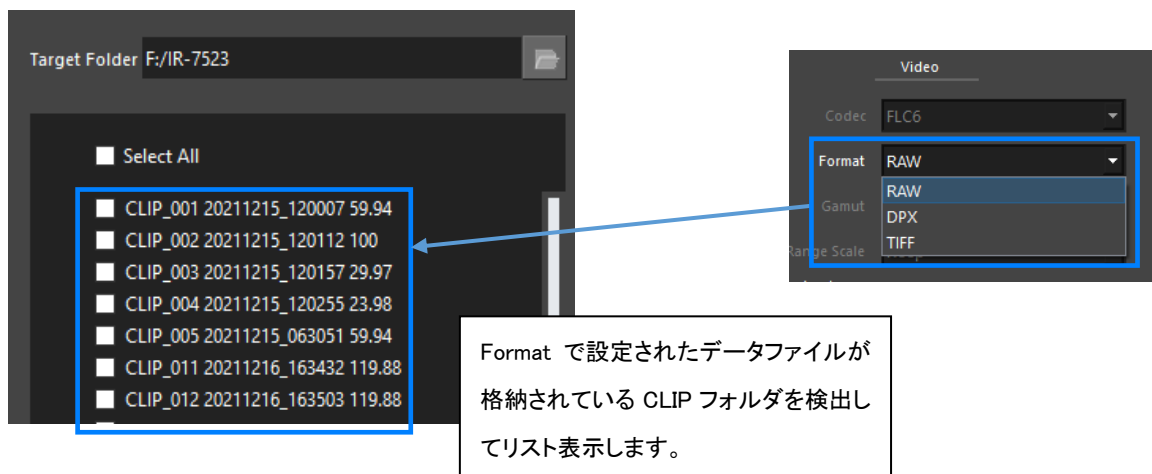
- ・ ※1 Restore 画面で設定します
  - ・Target Folder で設定されたフォルダパス。
- ・ ※2 CLIP データフォルダ
  - ・任意のフォルダ名に編集可能です。
- ・ ※3 Audio データフォルダ
  - ・Audio データが無い場合には無音になります。
  - ・ファイル名は連番になっている必要がありますが、任意の文字列を付けても問題ありません。
  - ・TestWavData\_01.wav、TestWavData\_02.wav 等
- ・ ※4 サムネイル画像フォルダ
  - ・必須です。
- ・ ※5 VIDEO データフォルダ
  - ・必須です。
  - ・任意の文字列をつけても問題ありません。
- ・ ※6 CLIP 情報 ini ファイル
  - ・必須です。

## 2.4.2 CLIP の転送方法

- 1 PCに保存されているCLIPフォルダパスを設定してください。フォルダアイコンを押下することでフォルダ選択画面を表示します。

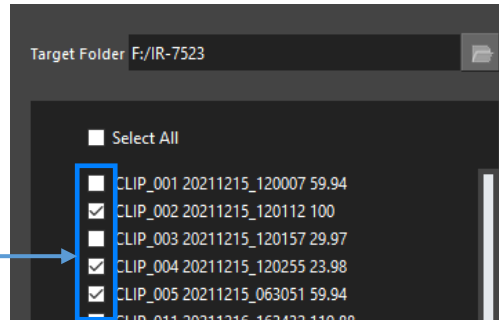


- 2 指定されたフォルダ内からCLIPフォルダを検出し、さらにFormatに設定されているデータファイルが格納されているCLIPフォルダをリスト表示します。

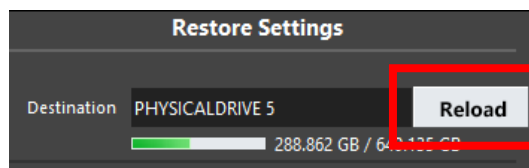


3 Restore 転送を行う CLIP を選択してください。

チェックを ON にされた CLIP データを CFe カードへ Restore 転送を行います。



4 CFe カードを挿し込んだ後、必ず [Reload ボタン] を押してください。

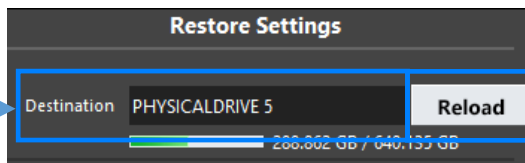


**!** 重要

特に複数枚の CFe の入れ替えを伴うような Restore 転送を実施する場合は、CFe カードを挿し込んでから Reload ボタンを押さずに転送を開始した際、前回の転送で使用した CFe カードの内部情報によって、現在挿し込まれている CFe カードが上書きされてしまう恐れがあります。

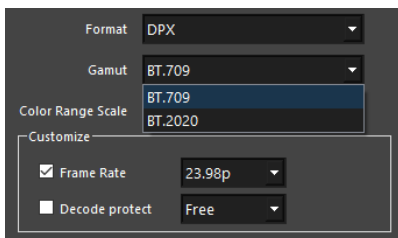
5 CFe カードが認識されているかを確認してください。認識がされてなかったり、後から CFe カードを接続した場合には Reload ボタンを押下して CFe カードを認識させてください。

認識された CFe カードのドライブを表示します。

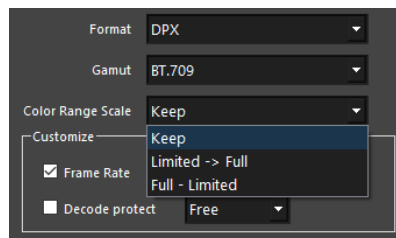


CFe カードを後から PC に接続した場合には Reload ボタンを押下することで認識処理を行います。

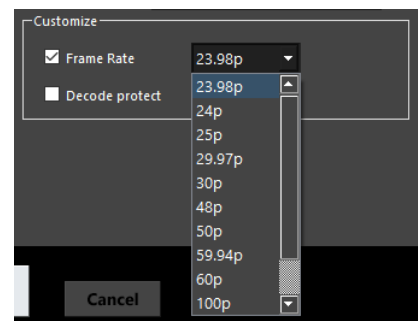
6 DPX や TIFF を選択された場合には色域、カラーレンジスケール、フレームレートも設定します。



Gamut 設定



Color Range Scale 設定

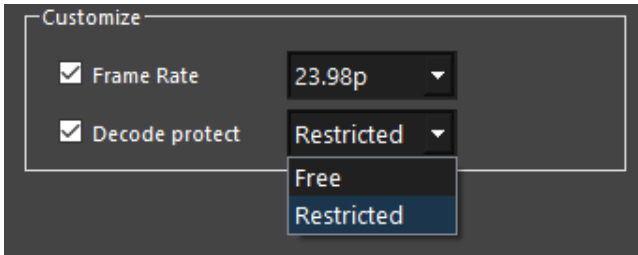


Customize-Frame Rate 設定

**MEMO**

- Customize - Frame Rate のチェックが ON になっている場合には選択されたフレームレートの設定を選択されている CLIP データに適用して Restore 転送を行います。チェックが OFF になっている場合には各 CLIP データに格納されている ClipInfo.ini に書かれているフレームレートを設定します。ClipInfo.ini が無く、チェックが OFF の場合には「23.98p」が設定されます。

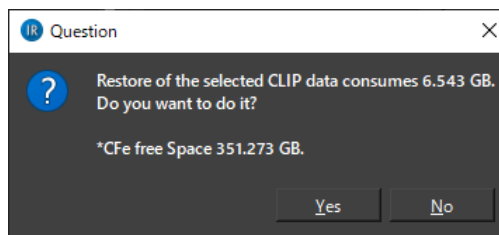
## 7 Decode Protect の設定を行います。



### MEMO

- Decode protect のチェックを ON にすることで有効になり、OFF の場合は元の Clip 情報を使用します。
- Decode protect の項目を Restricted にしたクリップと Free にしたクリップはそれぞれ以下の属性が付与されます。
  - Restricted : Restore したクリップは、TIFF や DPX の連番ファイルに再 Backup することを禁止する属性が付与されます。RAW 形式での再 Backup は可能ですが、RAW 形式の連番ファイルを Decode することは同様に禁止されます。
  - Free : Restore したクリップは、ファイル形式を問わず再 Backup が可能です。

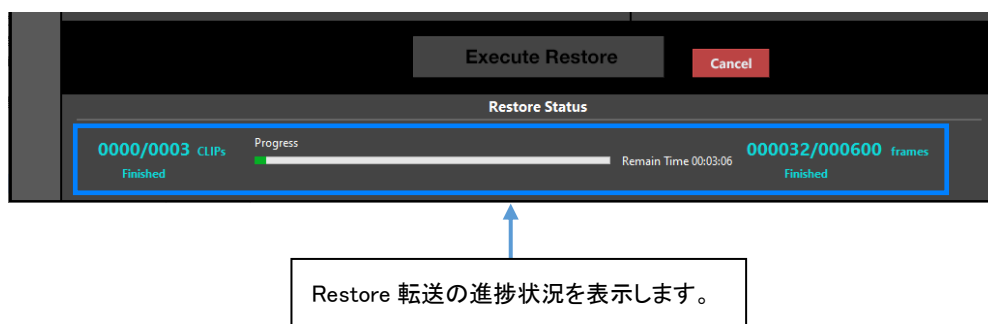
## 8 Execute ボタンを押下すると、選択された CLIP データを CFe カードへ転送した場合に消費されるデータ容量と CFe カードの空き容量を表示します。



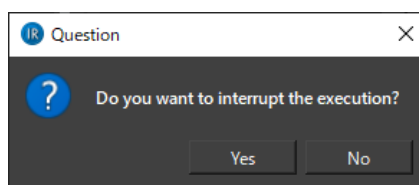
### MEMO

- CFe カードの容量が足りなくなると書き込みエラーになりますので、CFe カードの容量には十分注意してください。
- CFe カードの容量が足りない状態で Restore 転送を行うと CFe カードの空き容量が無くなるまで転送処理は行われます。空き容量が無くなった時点で書き込みエラーとなり処理を中断します。
- 書き込みエラーとなってもそこまで転送された Clip データは CFe カードに保存されます。
- エラーになった Clip データは転送済みのファイルまでの Clip データとして CFe カードに保存されます。

- 9 YES ボタンを押下すると Restore 転送処理を開始します。画面下部の Restore Status 部分にて進捗状況を表示します。



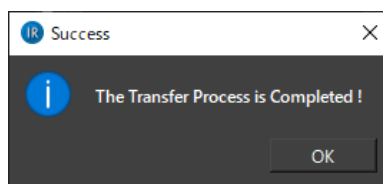
- 10 Restore 転送実行中は Cancel ボタンが有効になります。Cancel ボタンを押下すると転送処理を停止するかを聞いてきます。YES ボタンを押下すると転送処理はそこで中止します。



#### MEMO

- このメッセージダイアログを表示しただけでは転送処理は停止しません。メッセージダイアログ表示中でも転送処理は続けて行われます。

- 11 CLIP の Restore 転送処理が正常に終了すると下図のメッセージダイアログが表示されます。



- 12 OK ボタンを押下することで Restore 転送処理を終了します。

## 2.5 Decode 機能

PC に保存された CLIP データの RAW ファイルから DPX、TIFF ファイルへ変換を行う機能になります。

### 2.5.1 フォルダ構成

#### ● Target Folder

Decode 機能は RAW ファイルから変換を行いますので、RAW ファイルは必須になります。

指定フォルダ	※1
└CLIP フォルダ	※2
└RAW	※3
└Thumbnail	※4
└ClipInfo.ini	※5

#### MEMO

- ・ ※1 Decode 画面で設定します
  - ・Target Folder で設定されたフォルダパス。
- ・ ※2 CLIP データフォルダ
  - ・任意のフォルダ名に編集可能です。
- ・ ※3 RAW データフォルダ
  - ・必須です。
  - ・フォルダ名は「RAW」固定になります。
- ・ ※4 サムネイル画像フォルダ
  - ・無くても変換には問題ありません。
  - ・無い場合には RAW データからサムネイル画像を生成して表示しますが、Thumbnail フォルダ等の生成は行いません。
- ・ ※5 CLIP 情報 ini ファイル
  - ・必須です。

● Destination

変換先には下記のようなフォルダ構成で保存されます。

指定フォルダ	※1
└CLIP フォルダ 1	※2
├Audio	※3
├Thumbnail	※4
├VIDEO	※5
└ClipInfo.ini	※6

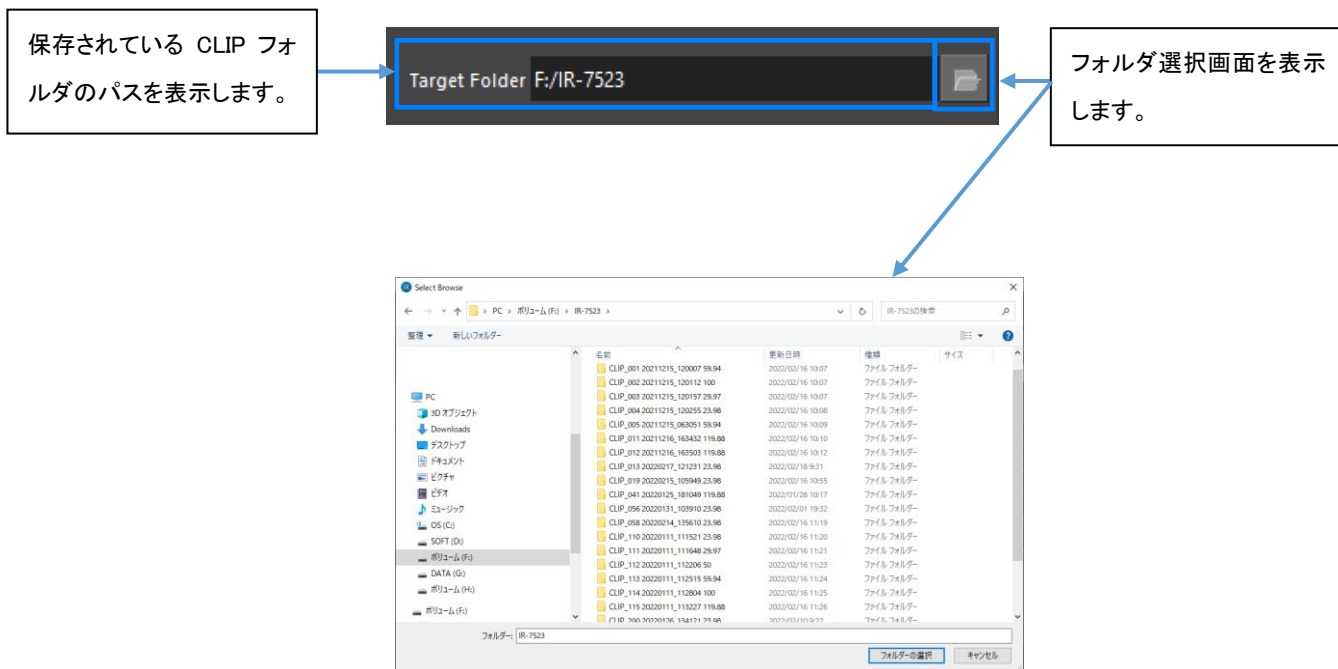
 MEMO

- ・ ※1 Decode 画面で設定します  
Destination で設定されたフォルダパス。
- ・ ※2 Decode 画面で選択された CLIP データフォルダ
- ・ ※3 Audio データフォルダ
- ・ ※4 サムネイル画像フォルダ  
・サムネイル画像は先頭フレームから1%ほど進んだフレームデータのサムネイル画像を1枚だけ保存致します。
- ・ ※5 VIDEO データフォルダ
- ・ ※6 CLIP 情報 ini ファイル

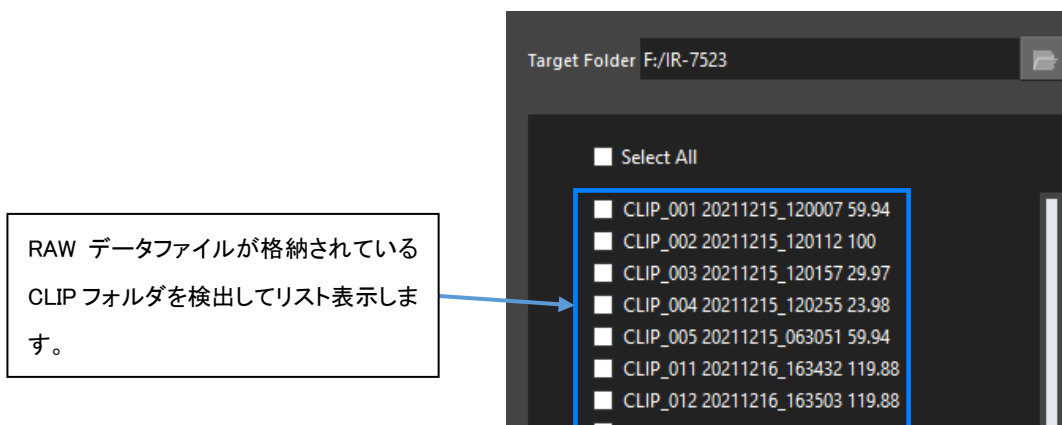


## 2.5.2 CLIP の変換方法

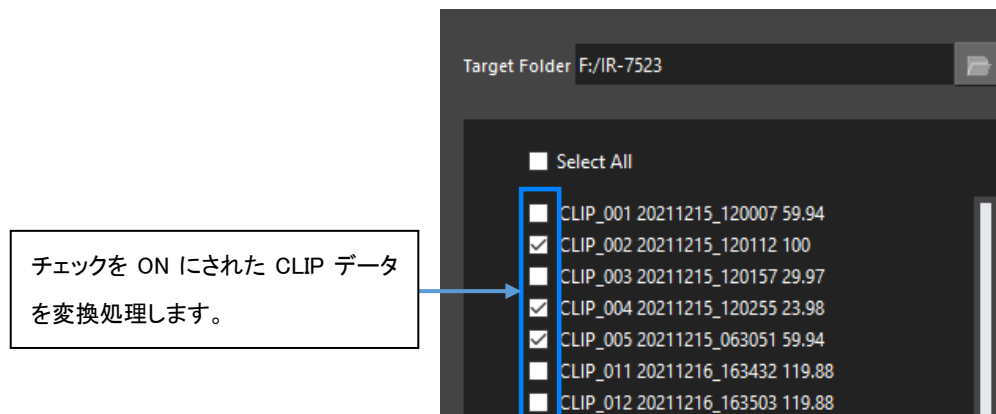
- 1 PC に保存されている CLIP フォルダパスを設定してください。フォルダアイコンを押下することでフォルダ選択画面を表示します。



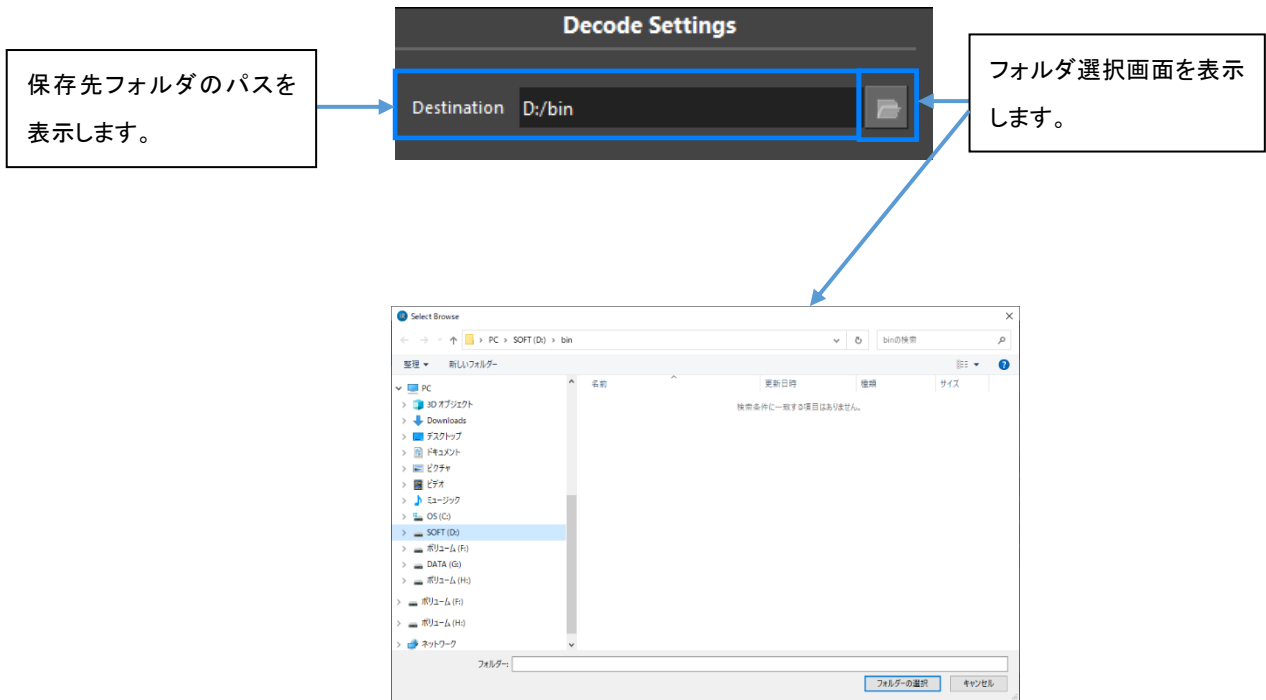
- 2 指定されたフォルダ内から CLIP フォルダを検出し、RAW データファイルが格納されている CLIP フォルダをリスト表示します。



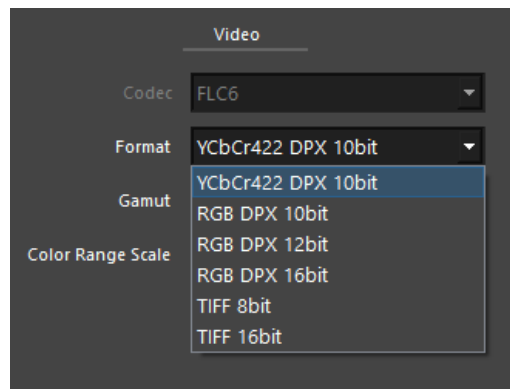
- 3 変換を行う CLIP を選択してください。



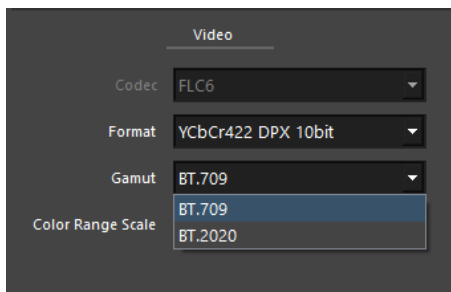
4 変換データの保存先を設定してください。フォルダアイコンを押下することでフォルダ選択画面を表示します。



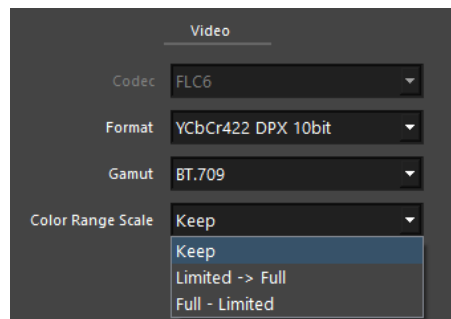
5 変換するファイル形式を選択します。



6 色域、カラーレンジスケールの設定も行います。

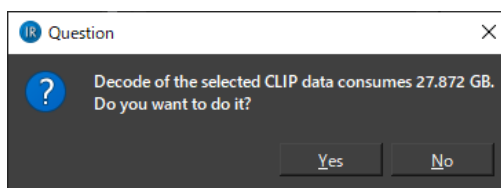


Gamut 設定



Color Range Scale 設定

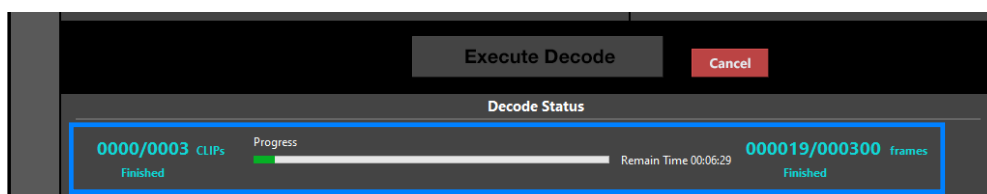
- 7 Execute ボタンを押下すると、選択された CLIP データを変換した場合に消費されるデータ容量を表示します。



#### MEMO

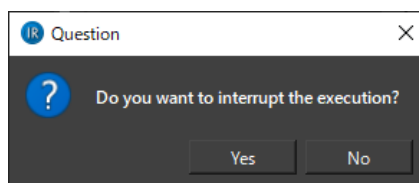
- ・ 保存先のドライブの容量が足りなくなると書き込みエラーになりますので、空き容量には十分注意してください。
- ・ PC の容量が足りない状態で変換処理を行うと PC の空き容量が無くなるまで変換処理は行われます。空き容量が無くなった時点で書き込みエラーとなり処理を中断します。
- ・ 書き込みエラーとなってもそこまで変換されたファイルは PC に保存されます。
- ・ クリップ情報の Decode Permission が [Restricted] のクリップを選んでいる場合 Execute ボタンが有効になりません。

- 8 YES ボタンを押下すると変換処理を開始します。画面下部の Decode Status 部分にて進捗状況を表示します。



変換処理の進捗状況を表示します。

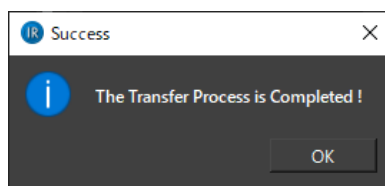
- 9 変換処理実行中は Cancel ボタンが有効になります。Cancel ボタンを押下すると変換処理を停止するかを聞いてきます。YES ボタンを押下すると変換処理はそこで中止します。



#### MEMO

- ・ このメッセージダイアログを表示しただけでは変換処理は停止しません。メッセージダイアログ表示中も変換処理は続けて行われます。

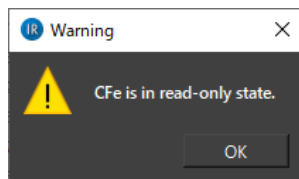
10 CLIP の変換処理が正常に終了すると下図のメッセージダイアログが表示されます。



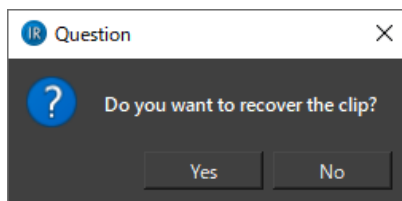
11 OK ボタンを押下することで変換処理を終了します。

## 2.6 不完全 CLIP の復旧

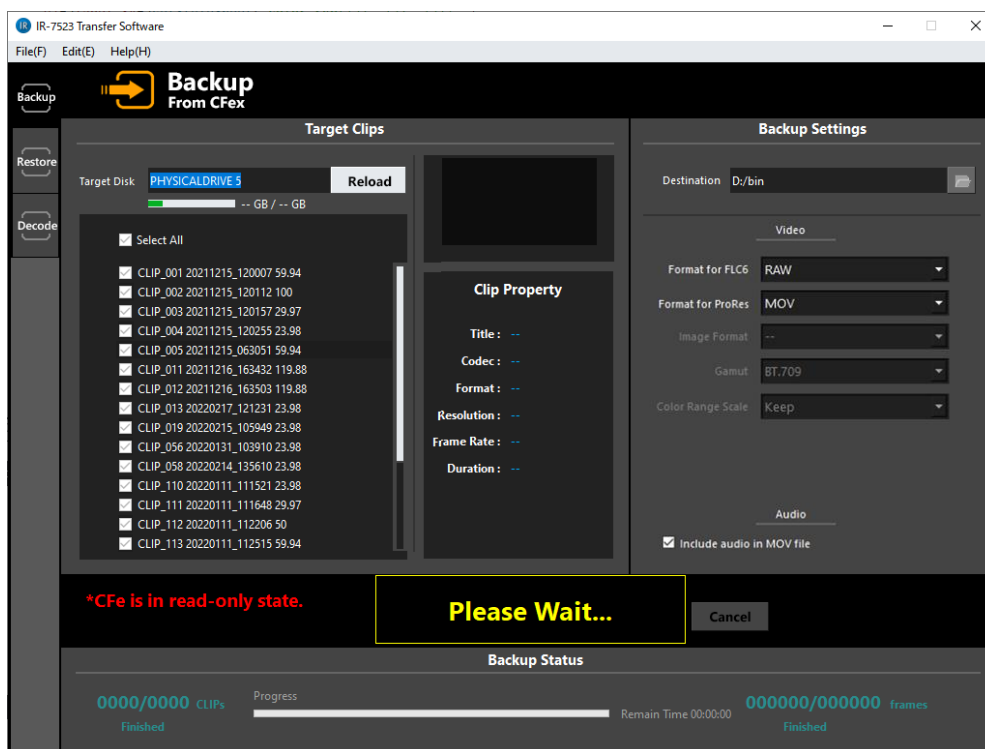
接続された CFe カードに不完全な CLIP データがあった場合、本ソフトの起動時に警告メッセージが表示されます。



OK ボタンを押下すると不完全な CLIP データを復旧するかを聞いてきます。



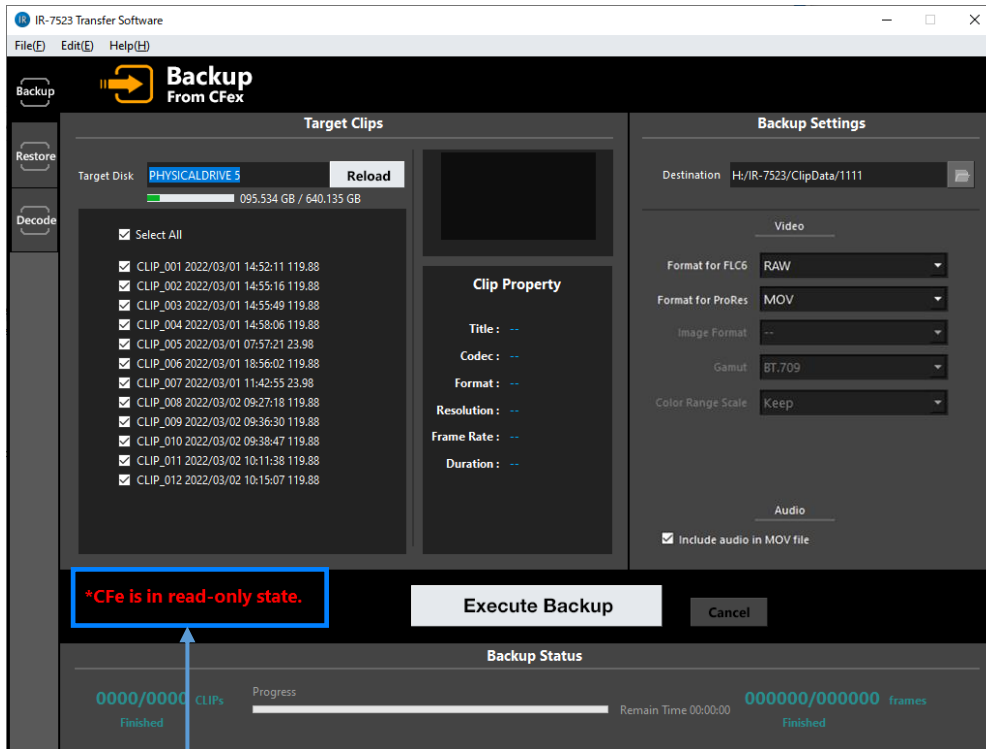
Yes ボタンを押下すると CLIP の復旧作業を実行します。



### MEMO

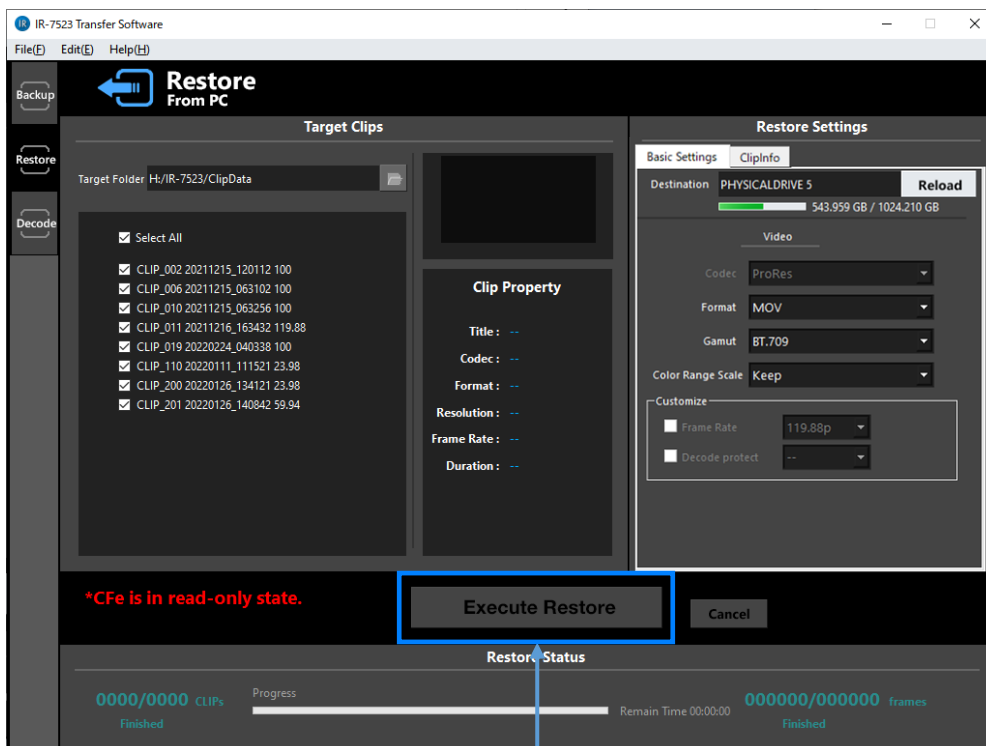
- ・ 復旧作業中には画面操作は行えません。
- ・ この復旧機能でも復旧できない場合があります。その場合には IR 本体での復旧を行ってみてください。それでも復旧出来ない場合には販売店又はアストロデザイン株式会社営業部門にご連絡ください。

No ボタンを押下すると読み込み専用で起動します。



読み込み専用状態であることを表示します。

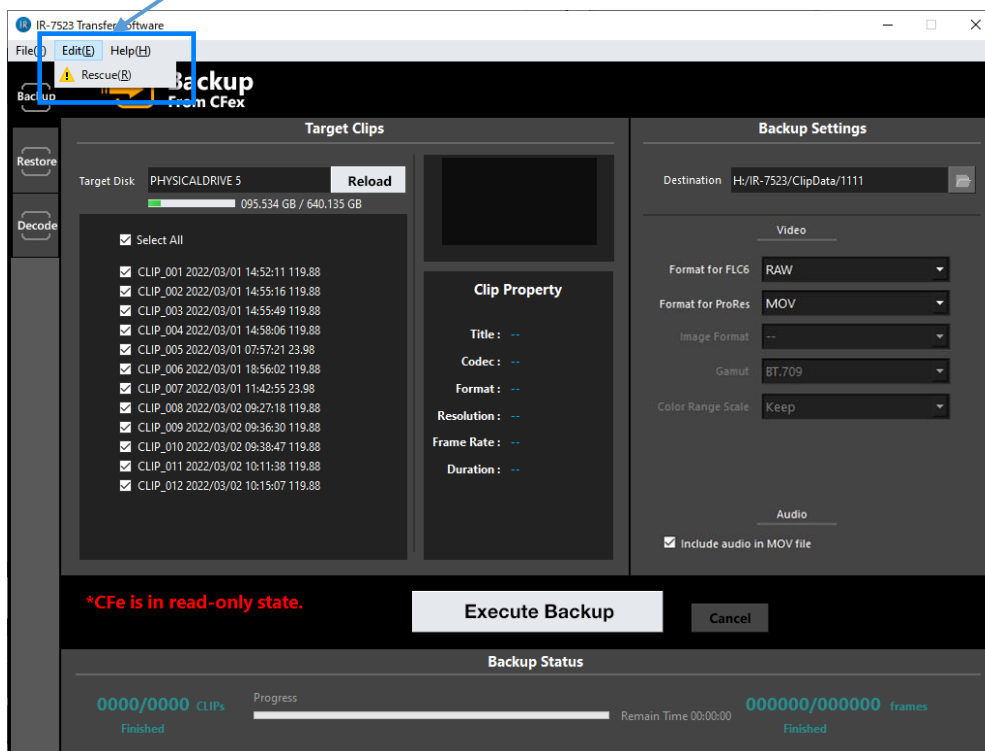
読み込み専用になっている状態なので Restore 画面では実行ボタンが押せない状態になります。



実行ボタンが無効になります。

読み込み専用で起動した場合にはメインメニューの「Edit」-「Rescue」にて不完全な CLIP の復旧を行うことができます。

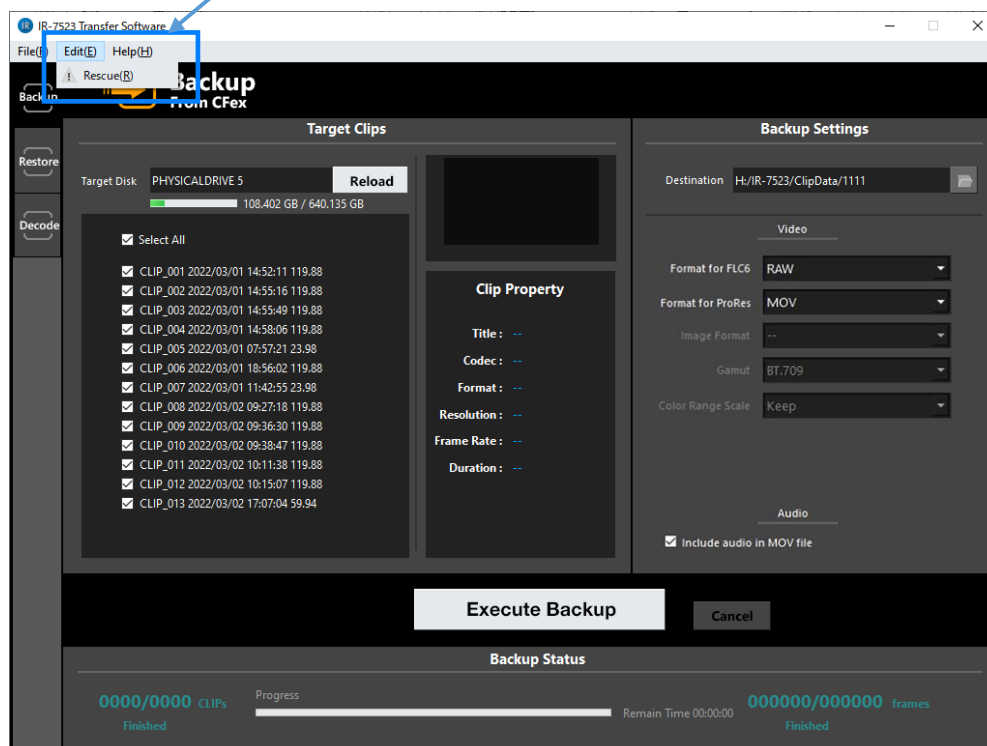
この Rescue メニューから CLIP の復旧作業を行うことができます。



### MEMO

- 正常に起動された場合には「Edit」-「Rescue」メニューは選択できないようになります。

正常動作時は選択できない状態になります。



## 第3章 メッセージ一覧

本章では、IR-7523 転送ソフトで表示されるメッセージについて説明します。

メッセージ一覧	説明
Check if the "TMCFLC_8x4_yuv422_10b.dll" file exists.	「TMCFLC_8x4_yuv422_10b.dll」ファイルの読み込みや処理に失敗している可能性があります。 インストール先に「TMCFLC_8x4_yuv422_10b.dll」が存在するか確認してください。 無い場合には一度アンインストールをしてから再インストールを行ってみてください。 それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
The function "TMCFLCEnc_Init" cannot be found in the DLL.	
The function "TMCFLCEnc_EncodeBLK" cannot be found in the DLL.	
The function "TMCFLCEnc_EncodeBUF" cannot be found in the DLL.	
The function "TMCFLCEnc_Finish" cannot be found in the DLL.	
The function "TMCFLCDec_Init" cannot be found in the DLL.	
The function "TMCFLCDec_DecodeBLK" cannot be found in the DLL.	
The function "TMCFLCDec_DecodeBUF" cannot be found in the DLL.	
The function "TMCFLCDec_Finish" cannot be found in the DLL.	
Failed to open the library file.	
Encoder initialization processing failed.	
Failed to compress the block data.	
Failed to compress the buffer data.	
Encoder termination processing failed.	
Failed to get the encoder version.	
Decoder initialization processing failed.	
Failed to expand the block data.	
Failed to expand the buffer data.	
Decoder termination processing failed.	
Failed to get the decoder version.	
Failed to load the function "ir7523st_load_system".	読み込もうとしている CFe カードの状態を確認してください。 ・IR 本体で正常に読み込めるか。 ・CFe カードの容量に十分な空きがあるのか。 等 また、「ir7523_storage.dll」ファイルの読み込みに失敗している可能性がありますので、インストール先に「ir7523_storage.dll」が存在するか確認してください。 無い場合には一度アンインストールをしてから再インストールを行ってみてください。 それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
Failed to load the function "ir7523st_clip_list".	
Failed to load the function "ir7523st_save_system".	
Failed to load the function "ir7523st_clip_info".	
Failed to load the function "ir7523st_parameter_from_format_id".	
Failed to load the function "ir7523st_open_play_clip".	
Failed to load the function "ir7523st_play_frame".	
Failed to load the function "ir7523st_open_rec_clip".	
Failed to load the function "ir7523st_add_rec_frame".	
Failed to load the function "ir7523_close_rec_clip".	
Failed to load the function "ir7523st_png_from_thumbnail".	
Failed to load the function "ir7523st_load_gpt".	
Failed to load the function "ir7523st_open_rescue_clip".	
Failed to load the function "ir7523st_revive_rescue_frame".	
Failed to load the function "ir7523_close_rescue_clip".	
IR-7523 status error.	CFe カードが認識されていない可能性があります。PC の「ディスクの管理」などで CFe カードが接続されていることを確認してください。 それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
Failed to open the device.	
Failed to open the device handle.	
Failed to get the sector information of the device.	
The device type is other than USB.	
DeviceIoControl failed.	
Failed to allocate memory.	



メッセージ一覧	説明
Failed to create the folder.	極端に容量が少なくなっていないかなどの PC の状態を確認してください。 それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
Input Image Open Error	Backup/Restore 転送時のファイル処理に失敗しています。転送を行うファイルが存在するか、転送先のドライブの容量に余裕があるかを確認してください。
Output Image Open Error	それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
H pixel size error.	転送する Frame データの解像度が未対応です。
V line size error.	販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
Failed to load ClipInfo.ini.	読み込み元のパスやファイルの存在を確認してください。
Failed to read RAW data.	それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
Failed to write Thumbnail image.	極端に容量が少なくなっていないかなどの PC の状態を確認してください。
Failed to write Decode image.	それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
Failed to write RAW data.	
Failed to Verify.	CFe カードからの読み込みに失敗している可能性があります。 CFe カードの読み込みに使用しているカードリーダーを変更してみてください。 それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
Failed to read the data.	CFe カードの認識やデータの転送先、転送元のフォルダパスの設定が有効になっているかを確認してください。
Failed to write the data.	また、本ソフトの再起動や再インストール等も行ってみてください。
Failed to seek the data.	それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
Device number error.	
Clip number error.	
Failed to write WAV data.	
DPX file Open Error	読み込もうとしているファイルの形式を確認してください。
Not an uncompressed TIFF image.	本ソフトでは対応していない形式で作成されている可能性があります。
It is not a TIFF image of a direct color model.	それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
WAV file Open Error	
Failed to read WAV data.	
Clip data is incomplete.	読み込もうとしている CLIP データが不完全な状態です。 CLIP の復旧を行ってください。 それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。
Clip recovery failed.	CLIP の復旧に失敗しました。 IR 本体での復旧を行ってください。 それでも、問題が解決しない場合は、販売店又はアストロデザイン株式会社 営業部門にご連絡ください。

## 第4章 変更履歴

Ver.	日付	頁	章/節/項番	内容	
1.00	2021/12/17			初版	
2.00	2022/03/22	4	1.1	記述文の追加 記述文の内容修正と追加	
		5-6	1.4	掲載画像の更新	
		7	1.5	「1.5 ファイル形式」を追加	
		8-31	2	掲載画像の更新	
		8	2.1.1	MEMO を追加	
		10	2.1.2	MEMO を追加	
		11-12	2.2.1	共通項目に「Edit」-「Rescue」を追加	
				共通項目に「Decode」を追加	
				Backup 画面項目の「Target Disk」に CFe カードの容量と使用領域についてを追加	
				Backup 画面項目の「Backup 設定項目」の内容修正と追加 MEMO の内容を修正	
		13-14	2.2.2	Restore 画面項目の「Destination」に CFe カードの容量と使用領域についてを追加	
				Restore 画面項目の「Restore 画面項目」の内容修正と追加	
		15-16	2.2.3	「2.2.3 Decode 機能画面」を追加	
		17	2.3	Backup 機能の説明文を修正	
		17	2.3.1	フォルダ構成に「Audio」を追加	
				フォルダ構成の記述内容を修正	
				MEMO の内容を修正	
		19	2.3.2	Image Format、Gamut、Color Range Scale の設定についての記述を追加	
		20		MEMO の内容を追記	
		22	2.4	Restore 機能の説明文を修正	
22	2.4.1	「2.4.1 フォルダ構成」の内容修正と追加			
24-27	2.4.2	「2.4.2 CLIP の転送方法」の内容修正と追加			
28-33	2.5	「2.5 Decode 機能」を追加			
34-36	2.6	「2.6 不完全 CLIP の復旧」			
37-38	3	一部のエラーメッセージの説明文を修正・追記			
		エラーメッセージの追加			
4.00	2022/07/25	8	1.6	ライセンスの項目を追加	
		13	2.2.1	Restricted Clip を選択した際のサムネイルに関する説明文を追加	
		15	2.2.2	Decode Protect 機能の説明文を追加	
		17	2.2.3	Restricted Clip を選択した際のサムネイルに関する説明文を追加	
		21	2.3.2-6	Restricted Clip に関する説明文を追加	
		27	2.4.2-7	Decode Protect 機能の説明文を追加	
		33	2.5.2-7	Restricted Clip に関する説明文を追加	
5.30	2023/01/20	2	はじめに	重要事項説明の追記	
		9,10	2.1.1	画像の差し替え	
		12-15	2.2.1	MOV の転送について追加	
			2.2.2	音声データの転送を ON/OFF するチェックボックスの追加 ClipInfo の設定の追加	
		19	2.3.1	MOV バックアップ時のフォルダ構成の追加	
		24	2.4.1	MOV バックアップ時のフォルダ構成の追加	
37-39	2.6	画像の差し替え			

- 落丁本・乱丁本はお取替えいたします。
- 本書の著作権は、アストロデザイン株式会社に帰属します。
- 本書の記載の一部又は全てを無断で使用、複製することはできません。
- 本書の記載は改良のため予告なしに変更することがあります。
- 誤った使用結果による影響については、その責を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品に関するお問い合わせは、ご購入の販売店、又は下記までお願いいたします。
- 本書に記載されている商品又は商品名は各社の商標又は登録商標です。